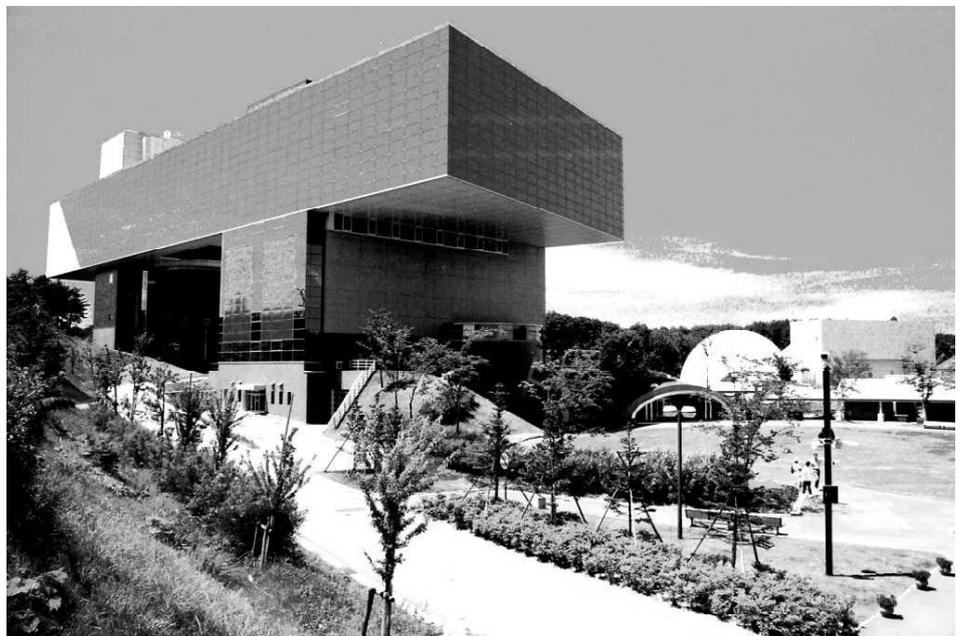


2018(平成30)年度

秋田県立近代美術館年報

Akita Museum of Modern Art Annual Report, 2018

Akita Museum of Modern Art



秋田県立近代美術館 外観

沿革	2
美術館の事業紹介	3
2018(平成30)年度事業一覧	5
展示事業	
i 特別展 北斎の富士 富嶽三十六景と富嶽百景	7
ii 特別展 チームラボ 踊る!アート展と、学ぶ!未来の遊園地	11
iii 特別展 鴻池 朋子 ハンターギャザラー	13
iv 特別展 横山津恵展	17
v 企画展 美術館の眼VIII	20
i コレクション展 第I期 うけつがれてゆくもの	22
ii コレクション展 第II期 今こそ、旅しよう -所蔵品でたどるすばらしき秋田-	23
iii コレクション展 第III期 もの・かたる・え	24
iv コレクション展 第IV期 春を待つ	25
コレクション展 展示風景	26
教育普及事業	
キンビ・創作体験プログラム	27
ミュージアムコンサート	30
美術館講座・美術講演	31
出前美術館・出前美術展	32
ネットワーク推進事業	35
ふれんどりーギャラリー	36
美術館のセカンドスクールの利用	38
博物館実習	39
美術館ボランティアAMC (アムック)	39
収集事業	
美術品収集	40
図書資料	41
美術品保存	
美術品保存・修復	42
重要文化財等指定	42
燻蒸	43
美術品の貸し出し	43
調査・研究業績	44
刊行物	45
入館状況	46
組織	47
建築・設備概要	48
関係法規	49
館内図	51
利用・交通案内	53

沿革

1988(昭和63)年	11月	秋田ふるさと村(仮称)建設基本構想策定
1989(平成元年)	5月	秋田郷土美術館(仮称)建設基本構想策定
	12月	秋田ふるさと村(仮称)建設基本計画策定
1990(平成2)年		文化課に新美術館建設準備担当設置
	6月	用地取得・造成工事着手
1991(平成3)年	6月	美術館建設工事着手
1993(平成5)年	6月	美術館建設工事完成
1994(平成6)年	4月20日	開館
1997(平成9)年	10月2日	天皇・皇后両陛下下行幸啓
1999(平成11)年	4月	秋田ふるさと村入村料無料化
2001(平成13)年	1月	展示室以外の館内無料化
	9月26日	入館者数1,000,000人を達成
2007(平成19)年	10月	入館者数1,500,000人を達成
2009(平成21)年	4月	特別展観覧料学生以下無料
2013(平成25)年	7月	入館者数2,000,000人を達成
2018(平成30)年	2月～3月	休館し、館内改修工事を実施
2018(平成30)年	4月	リニューアルオープン
	8月	入館者数2,500,000人を達成

美術館の事業紹介

◆ 展 示

企画展

美術館独自の企画、他美術館・諸団体との共催により、広く内外の美術を対象に特色あるテーマをもった展覧会を開催します。

コレクション展

当館所蔵作品を年4回の展示替えを行いながら、常時公開するものです。

Exhibition

Special Exhibition

Under a unique theme, native and foreign artwork are displayed in cooperation with other museums and organizations.

Permanent Exhibition

A portion of our collection is regularly displayed and each is rotated every few months.

◆ 収 集

近代以降の優れた美術作品を中心に、近・現代美術の思潮をたどるうえで必要な作品や資料を収集します。

- ①秋田蘭画・初期洋風画作品及び資料
- ②近代以降の本県出身及びゆかりの作家の作品や資料
- ③日本の美術思潮を学ぶことのできる作品や資料
- ④当館の収集作品としてふさわしい内外の美術作品や資料

Purchasing Activities

In order to follow the current trends in modern and present day thought in fine art, our collection of fine works concentrates mostly on the postmodern era as described below.

- ① The Akita School of Ranga paintings, early westernstyle paintings in Japan, and the materials associated with these works.
- ② The fine art work of modern artists who are closely connected to, or are from Akita Prefecture, and related materials.
- ③ Works which teach us about the current thought in Japanese fine art, and the materials associated with these works.
- ④ Other native and foreign works which are of great substance, and the materials associated with them.

◆ 保存管理

優れた美術作品の散逸・損傷・亡失を防ぎ、後世に伝えるため、調査研究を行い、良好な環境の中で保存します。

Preservation

We have preserved all of the fine works in the best condition possible in order to prevent them from being scattered, damaged or lost.

We wish to continually improve our research and hand down these collections to future generations.

◆ 調査研究

当館の各種事業の充実を図るため、その基礎となる次のような調査研究活動を行います。

- ① 収蔵品に関する調査研究
- ② 秋田県の近・現代美術に関する調査
- ③ 保存・管理、教育普及活動、展示活動、創作に関する調査研究
- ④ その他の調査

Research Activities

We are constantly researching in order to increase our knowledge and to improve the museum's collections.

- ① Permanent collection
- ② Modern and contemporary fine art from Akita Prefecture
- ③ Topics relating to the creation, exhibition and preservation of art, as well as the contribution of fine art to education
- ④ Other researches

◆ 広報出版

県民に親しまれる芸術文化活動の拠点として、種々の印刷物の刊行やマスメディアとの連携等により、美術館事業に関する情報を提供します。

Publicity Works Activities

As a center of art and cultural activity for People in Akita, we provide information about museum operations through pamphlets and the mass media.

◆ 教育普及

誰でもが気軽に利用できる美術館を目指し、展示活動を始め、講演会・美術館講座・実技講座等様々な事業を行います。また、美術館ボランティアAMC（アムック）との連携により、より積極的な普及活動を行います。

Educational Activities

In cooperation with the museum volunteer group (AMC), we hold various lectures, seminars and workshops.



秋田県立近代美術館 5階中央ホール

2018(平成30)年度事業一覧

月	企画展	コレクション展	▲移動展等	◆企画展関連イベント等
2018				
4	4月21日(土)～6月17日(日) 特別展 秋田県立近代美術館リニューアルオープン記念 北斎の富士 富嶽三十六景と富嶽百景 	4月1日(日)～6月17日(日) 2018コレクション展 第1期 うけつがれてゆくもの 秋田県立近代美術館所蔵 ・名作セレクション 		◇ 4月21日(土) 北斎の富士展 記念講演会 「世界を驚かせた北斎」 講師：浦上 満 氏(浦上蒼穹堂代表) ◇ 4月22日(日) 北斎の富士展 担当学芸員によるギャラリートーク ②回目 5月13日(日) ◇ 5月27日(日) 北斎の富士展 ワークショップ 「版画：北斎の富士山に挑戦！」 講師：当館学芸主事
5				
6				
7	6月30日(土)～9月2日(日) 特別展 チームラボ 踊る！アート展と、学ぶ！未来の遊園地 ※5・6階展示室全フロアで展開 			△ 7月11日(水)～7月25日(水) 出前美術展 中村征夫写真展 「美ら海 きらめく」 会場：能代エナジウムパーク 
8				△ 7月27日(金)～7月31日(火) 出前美術展 -あきたの色と形- 会場：秋田県立美術館 
9	9月15日(土)～11月25日(日) 特別展 鴻池朋子 ハンターギャザラー ※中央ホール～スロープギャラリー ～5階展示室で展開 	9月10日(月)～11月11日(日) 2018コレクション展 第2期 今こそ、旅しよう -所蔵品でたどる すばらしき秋田- 		◇ 9月15日(土) 鴻池朋子アーティストトーク ②回目 11月24日(土) △ 9月29日(土)～10月25日(木) ネットワーク事業「紺野五郎」 会場：県立図書館2階特別展示室 
10				◇ 9月30日(日) 鴻池朋子展 担当学芸員とABS7ナウナーによるギャラリートーク ②回目 11月10日(土) ◇ 10月27日(土) 鴻池朋子展 ワークショップ 「精霊のパバナキ」 講師：大山 功一(ゲームデザイナー)、鴻池朋子
11				◇ 10月28日(日) 鴻池朋子展 パフォーマンス&トーク 「Frozen River」 ゲスト：山川冬樹(ホーメイアーティスト)、鴻池朋子
12	12月1日(土) ～2月11日(月・祝) 特別展 横山津恵展 	11月14日(水)～1月27日(日) 2018コレクション展 第3期 もの・かたる・え 		◇ 12月 1日(土) 横山津恵展 担当学芸員によるギャラリートーク ②回目 1月6日(日)
2019				
1	同上	同上		
	1/15(火)～24(木)メンテナンス休館			
	同上	同上		
2	2月16日(土)～4月21日(日) 企画展 美術館の眼Ⅷ 	1月30日(水)～4月7日(日) 2018コレクション展 第4期 春を待つ Waiting for Spring 		◇ 2月16日(土) 美術館の眼Ⅷ 担当学芸員によるギャラリートーク ②回目 3月24日(日)
3				

- ◆平成30年度 秋田県立近代美術館 美術館講座
館長講座・「雅」の造形ー平安時代の美術と文化
5月19日(土)「雅」の始まりー9世紀の美術
6月 9日(土) 国風文化の開花
7月14日(土) 極楽往生への願い
8月 4日(土) 美しい仏たち
9月 8日(土) 六道輪廻を描く
10月20日(土) 絵巻の世界Ⅰー源氏物語絵巻と鳥獣戯画
11月10日(土) 絵巻の世界Ⅱー信貴山縁起絵巻と伴大納言絵巻
12月 8日(土) 書と工芸の繊細華麗な世界
講師：仲町啓子
(秋田県立近代美術館長・実践女子大学文学部教授)
会場：秋田県立近代美術館6階研修室

- ◆生涯学習センター秋田ふるさと講座
「よこて芸術・文化探訪」
9月22日(土)、10:10~11:30、参加者50名
講師：鈴木 京(秋田県立近代美術館学芸主事)
会場：秋田県立近代美術館6階研修室

□ 4月 1日(日)コレクション展 第1期「うけつがれてゆくもの」ギャラリートーク①
②回目 4月28日(土)、③回目 5月26日(土)

☆ 4月 1日(日)~5月13日(日)ふれんどりーギャラリー
野崎文隆 氏「スーパーリアリズムの世界」



● 5月12日(土)・13日(日)美術館教室「スーパーリアリズムに挑戦」
講師：野崎文隆 氏(ブランディングディレクター)

☆ 5月19日(土)~7月 1日(日)ふれんどりーギャラリー
鈴木 司 氏「パステル画の世界」



◎ 5月20日(日)ミュージアムコンサート
「トリオ・ドルチェ コンサート」

● 6月 2日(土)美術館教室「パステル画教室」
講師：鈴木 司 氏(秋田公立美術大学美術センター教授)

● 7月29日(日)みんなの教室「Go! Go! 走るぞ! 木のクルマⅡ」

● 8月 5日(日)きつずあーと「びしゃびしゃアート」
※荒天(雷雨)のため館内でローラー遊びに変更

● 9月 2日(日)きつずあーと「つちねんどでドロンコアート」

□ 9月16日(日)コレクション展 第2期「今こそ、旅しよう」ギャラリートーク①
②回目 10月14日(日)

☆10月 6日(土)ネットワーク事業「紺野五郎」ギャラリートーク

●10月21日(日)みんなの教室 子どものための日本画教室Ⅱ
「岩絵の具で遊ぼう」

●11月 3日(土)・4日(日)美術館教室 日本画教室「植物を描く」
講師：山田美知男 氏(画家・日本美術院院友)

□11月18日(日)コレクション展 第3期「もの・かたる・え」ギャラリートーク①
②回目 12月15日(土)

◎12月 2日(日)ミュージアムコンサート「サクソ四重奏」

□ 2月10日(日)コレクション展 第4期「春を待つ」ギャラリートーク①
②回目 3月10日(日)

2018

4

5

6

7

8

9

10

11

12

2019

1

2

3

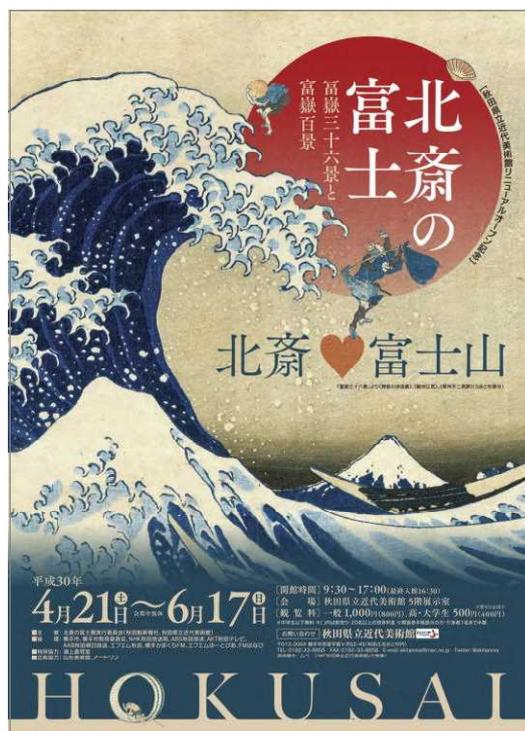
i. 特別展 秋田県立近代美術館リニューアルオープン記念

北斎の富士 富嶽三十六景と富嶽百景

会 期 2018(平成30)年4月21日(土)～6月17日(日)【58日間】
 主 催 北斎の富士展実行委員会
 (秋田魁新報社、秋田県立近代美術館)
 後 援 横手市／横手市教育委員会／NHK秋田放送局／ABS秋田放送
 AKT秋田テレビ／AAB秋田朝日放送／エフエム秋田／
 横手かまくらFM／エフエムゆーとぴあ／FMはなび
 特別協力 株式会社 浦上蒼穹堂
 企画協力 山形美術館、アートワン
 担 当 保泉 充、小林紀子

秋田県立近代美術館のリニューアルオープンを記念しての展覧会。江戸後期の画家・葛飾北斎は、その長い生涯の中で浮世絵師としておよそ70年にも及び活躍した。北斎の卓越した描写力、ユーモアあふれる発想力は江戸の庶民に愛されただけではなく、ゴッホやモネなど印象派の画家にも影響を与え、今なお世界中の人々を魅了している。

本展では、「富嶽三十六景」から有名な《神奈川沖浪裏》《凱風快晴》をはじめとして、表富士36図と裏富士10図の全作品を展示、また和綴じ本のため全作品を展示することが難しかった版本「富嶽百景」も、所蔵家のご理解とご協力のもと、1図ずつ額装してご覧いただいた。



第1・2展示室

富嶽百景 初編 天保5(1834)年 半紙本一冊 西村屋祐蔵(成鄰堂)

No.	作品名	よみ	図(片面、両面)	寸法(縦×横) cm
1	木花開耶姫命	このはなさくやひめのみこと	片	18.1 × 12.7
2	孝霊五年不二峯出現	こうれいごねんふじのみねしゅつげん	両	19.5 × 25.2
3	役ノ優婆塞富嶽草創	えんのうばそくふがくそうそう	両	19.7 × 25.2
4	快晴の不二	かいせいのふじ	両	18.3 × 25.2
5	不二の山明キ	ふじのやまあき	片	18.3 × 12.8
6	辻リ	すべり	片	18.2 × 12.8
7	宝永山出現	ほうえいざんしゅつげん	両	18.2 × 25.3
8	其二	そのに	両	18.4 × 25.2
9	霧中の不二	むちゅうのふじ	両	18.3 × 25.3
10	山中の不二	さんちゅうのふじ	両	18.5 × 25.3
11	柳塘の不二	りゅうとうのふじ	両	18.5 × 25.4
12	七夕の不二	たなばたのふじ	片	18.5 × 12.2
13	袖ヶ浦	そでがうら	片	18.2 × 12.6
14	尾州不二見原	びしゅうふじみがはら	片	18.3 × 12.8
15	山亦山	やまたやま	片	18.6 × 12.8
16	大森	おおもり	片	18.4 × 12.7
17	洞中の不二	どうちゅうのふじ	片	18.2 × 12.6
18	松山の不二	まつやまのふじ	両	18.3 × 25.3
19	烟中の不二	えんちゅうのふじ	両	18.3 × 25.4
20	田面の不二	たのふじ	両	18.4 × 25.1
21	蘆中筏の不二	ろちゅういかだのふじ	両	18.5 × 25.4

22	木枯の不二	こがらしのふじ	両	18.3 × 25.1
23	元旦の不二	がんとんのふじ	片	18.4 × 12.7
24	江戸の不二	えどのふじ	片	18.3 × 12.3
25	鏡臺不二	きょうだいふじ	両	18.3 × 25.1
26	裏不二	うらふじ	両	18.4 × 25.3
27	笠不二	かさふじ	両	18.5 × 25.2
28	雲帯の不二	うんたいのふじ	両	18.4 × 25.3
29	花間の不二	はなまのふじ	両	18.4 × 25.2
30	豊作の不二	ほうさくのふじ	両	18.4 × 25.2
31	千金富士	せんきんふじ	片	18.3 × 12.2
32	井戸浚の不二	いどさらえのふじ	片	18.2 × 12.2
33	信州八ヶ嶽の不二	しんしゅうやつがたけのふじ	両	18.2 × 25.2
34	竹林の不二	ちくりんのふじ	両	18.3 × 25.2
35	堤越の不二	つつみごしのふじ	両	18.3 × 25.1
36	登龍の不二	のぼりりゅうのふじ	両	18.2 × 25.2
37	容齋不二	うねりふじ	両	18.4 × 25.0
38	紺屋町の不二	こんやちょうのふじ	片	18.2 × 12.7
39	盃中の不二	はいちゅうのふじ	片	18.0 × 12.6
40	海上の不二	かいじょうのふじ	両	18.2 × 25.2
41	洲寄の不二	すさきのふじ	両	18.1 × 25.2
42	夢の不二	ゆめのふじ	両	18.0 × 25.2
43	三白の不二	さんぱくのふじ	片	18.0 × 12.7
44	掛物の發端	かけものほったん	片	17.6 × 12.7
45	松越の不二	まつごしのふじ	片	18.3 × 12.5
46	不二の室	ふじのむろ	片	18.0 × 12.7
47	寫真の不二	しょううつしのふじ	両	18.1 × 25.2
48	七橋一覽の不二	しちきょういちらんのふじ	両	18.4 × 25.2
49	大石寺の山中の不二	たいせきじのさんちゅうのふじ	両	17.9 × 25.2
50	嶋田か鼻夕陽不二	しまだがはなゆうひのふじ	両	18.0 × 25.3
51	不二の麓	ふじのふもと	両	18.0 × 25.3
52	夕立の不二	ゆうだちのふじ	両	18.1 × 25.0
53	遠江山中の不二	ととおみさんちゅうのふじ	両	18.0 × 25.0
54	篋の不二	かけいのふじ	両	18.1 × 25.3
55	月下の不二	げっかのふじ	両	18.0 × 25.0
56	雪の且の不二	ゆきのあしたのふじ	両	18.0 × 25.1
57	文邊の不二	ぶんべのふじ	両	18.0 × 25.2
58	武邊の不二	ぶべのふじ	両	18.0 × 25.3
59	刻不二	きざみふじ	片	18.0 × 12.7
60	窓中の不二	そうちゅうのふじ	片	18.0 × 12.7
61	谷間の不二	たにまのふじ	片	18.1 × 12.7

富嶽百景 三編 刊行年未詳 半紙本一冊 永楽屋東四郎(東壁堂)

No.	作品名	よみ	図(片面、両面)	寸法(縦×横)cm
62	赤澤の不二	あかさわのふじ	片	18.3 × 12.6
63	野洲遠景の不二・男體山行者越の松	やしゅうえんけいのふじ・なんたいさんぎょうじゃごえのまつ	両	19.2 × 25.0
64	深雪の不二	しんせつのふじ	両	18.2 × 25.0
65	貴家別荘砂村の不二	きかべつそうすなむらのふじ	両	18.3 × 25.0
66	市中の不二	しちゅうのふじ	片	18.2 × 12.7
67	曇天の不二	どんてんのふじ	片	18.1 × 12.5
68	来朝の不二	らいちょうのふじ	両	18.0 × 25.0
69	暁の不二	あかつきのふじ	片	18.2 × 12.7
70	跨キ不二	またぎふじ	片	18.2 × 12.0
71	水道橋の不二	すいどうばしのふじ	片	18.2 × 12.5
72	羅に隔るの不二	らにへなるのふじ	片	18.2 × 12.4
73	兀良哈の不二	おらんかいのふじ	片	18.1 × 12.5
74	阿須見村の不二	あすみむらのふじ	片	18.0 × 12.5

75	隅田の不二	すみだのふじ	両	18.0 × 24.8
76	八塚廻の不二	やさかいめぐりのふじ	両	18.1 × 24.9
77	風情面白キ不二	ふぜいおもしろきふじ	片	18.1 × 12.5
78	甲斐の不二濃男	かひのふじのうおとこ	片	18.2 × 12.5
79	稲毛領夏の不二	いなげりょうなつのふじ	両	18.2 × 25.2
80	鳥越の不二	とりごえのふじ	片	18.2 × 12.8
81	瀧越の不二	たきごしのふじ	片	18.2 × 12.6
82	村塚の不二	むらざかいのふじ	片	18.0 × 12.5
83	青山の不二	あおやまのふじ	片	18.3 × 12.5
84	網裏の不二	あみうらのふじ	片	18.2 × 12.5
85	橋下の不二	きょうかのふじ	片	18.4 × 12.6
86	足代の不二	あしだいのふじ	片	18.3 × 12.3
87	村雨の不二	むらさめのふじ	片	18.1 × 12.2
88	狼煙の不二	のろしのふじ	両	18.0 × 25.0
89	福録壽	ふくろくじゅ	片	18.1 × 12.4
90	大井川桶越の不二	おおいがわおけごしのふじ	片	18.0 × 12.5
91	見切の不二	みきりのふじ	片	18.0 × 12.5
92	武蔵野の不二	むさしのふじ	片	18.1 × 12.5
93	茅の輪の不二	ちのわのふじ	片	18.0 × 12.5
94	不斗見不二	ふとみるふじ	片	18.1 × 12.4
95	山氣ふかく形を崩の不二	さんきふかくかたちをくずすのふじ	片	18.2 × 12.5
96	郭公の不二	かつこうのふじ	片	18.1 × 12.5
97	羅漢寺の不二	らかんじのふじ	片	18.1 × 12.5
98	千束の不二	せんぞくのふじ	片	18.2 × 12.5
99	稜穴の不二	さいけつのふじ	片	18.2 × 12.5
100	海濱の不二	かいひんのふじ	片	18.4 × 12.2
101	蛇追沼の不二	へびおいぬまのふじ	両	18.2 × 25.0
102	大尾一筆の不二	たいびひとふでのふじ	片	18.0 × 12.5

第3・4展示室

富嶽三十六景 文政(1818~30)末~天保(1830~44)前期 大判横 西村屋与八(永寿堂)

No.	作品名	よみ	落款	寸法(縦×横)cm
1	神奈川沖浪裏	かながわおきなみうら	北斎改爲一筆	25.8 × 37.3
2	凱風快晴	がいふうかいせい	北斎改爲一筆	25.7 × 37.5
3	山下白雨	さんかはくう	北斎改爲一筆	25.2 × 37.4
4	深川万年橋下	ふかがわまんねんばしした	北斎改爲一筆	25.8 × 38.0
5	東都駿臺	とうとすんだい	北斎改爲一筆	25.0 × 37.3
6	青山圓座忝	あおやまえんざのまつ	北斎改爲一筆	25.2 × 37.3
7	武州千住	ぶしゅうせんじゅ	北斎改爲一筆	25.5 × 38.0
8	甲州犬目峠	こうしゅういぬめとうげ	北斎改爲一筆	25.5 × 37.0
9	尾州不二見原	びしゅうふじみがはら	北斎改爲一筆	25.9 × 38.5
10	武州玉川	ぶしゅうたまがわ	北斎爲一筆	25.8 × 37.5
11	武陽佃寫	ぶようつくだじま	前北斎爲一筆	25.8 × 38.1
12	相州七里濱	そうしゅうしちりがはま	前北斎爲一筆	25.9 × 38.4
13	信州諏訪湖	しんしゅうすわこ	前北斎爲一筆	25.8 × 37.7
14	甲州石班澤	こうしゅうかじかざわ	前北斎爲一筆	26.3 × 38.5
14'	甲州石班澤【変わり摺り】	こうしゅうかじかざわ	前北斎爲一筆	25.2 × 37.6
15	常州牛掘	じょうしゅううしぼり	前北斎爲一筆	25.2 × 37.4
16	相州梅澤左	そうしゅううめざわのひだり	前北斎爲一筆	25.5 × 37.8
17	甲州三寫越	こうしゅうみしまごえ	前北斎爲一筆	25.5 × 37.3
17'	甲州三寫越【変わり摺り】	こうしゅうみしまごえ	前北斎爲一筆	25.5 × 37.1
18	東都浅艸本願寺	とうとあさくさほんがんじ	前北斎爲一筆	25.5 × 38.0
19	駿州江尻	すんしゅうえじり	前北斎爲一筆	24.7 × 37.0
20	遠江山中	とおとうみさんちゅう	前北斎爲一筆	25.0 × 37.2
20'	遠江山中【変わり摺り】	とおとうみさんしゅう	前北斎爲一筆	24.7 × 36.5
21	礪川雪ノ且	こいしかわゆきのあした	前北斎爲一筆	25.3 × 37.0

22	下目黒	しもめぐろ	前北斎為一筆	25.8 × 37.9
23	東海道吉田	とうかいどうよしだ	前北斎為一筆	25.4 × 38.2
24	上總ノ海路	かずさのかいろ	前北斎為一筆	25.5 × 38.0
25	登戸浦	のぼとうら	前北斎為一筆	25.9 × 38.4
26	江戸日本橋	えどにほんばし	前北斎為一筆	25.8 × 38.0
27	隅田川関屋の里	すみだがわせきやのさと	前北斎為一筆	25.3 × 37.7
28	相州箱根湖水	そうしゅうはこねのこすい	前北斎為一筆	25.5 × 37.5
29	甲州三坂水面	こうしゅうみさかすいめん	前北斎為一筆	25.5 × 37.8
30	東海道路ケ谷	とうかいどうほどがや	前北斎為一筆	25.6 × 38.0
31	江都駿河町三井見世略圖	えどするがちょうみつみせりやくず	前北斎為一筆	25.2 × 37.3
32	御厩川岸より兩國橋夕陽見	おんまやがしよりりょうごくばしのせきようをみる	前北斎為一筆	25.0 × 37.5
33	五百らかん寺さざみどう	ごひやくらかんじさざえどう	前北斎為一筆	25.8 × 38.3
34	隠田の水車	おんでんのすいしゃ	前北斎為一筆	25.0 × 37.5
35	相州江の鳶	そうしゅうえのしま	前北斎為一筆	25.5 × 38.0
36	東海道江尻田子の浦略圖	とうかいどうえじりたごのうらりやくず	前北斎為一筆	24.7 × 36.5
37	本所立川	ほんじょたてかわ	前北斎為一筆	24.8 × 36.7
38	従千住花街眺望ノ不二	せんじゅかがいよりちようぼうのふじ	前北斎為一筆	25.2 × 36.2
38'	従千住花街眺望ノ不二【変わり摺り】	せんじゅかがいよりちようぼうのふじ	前北斎為一筆	24.2 × 37.0
39	東海道品川御殿山ノ不二	とうかいどうしながわごてんやまのふじ	前北斎為一筆	25.2 × 37.9
40	甲州伊沢晩	こうしゅういさわのあかつき	前北斎為一筆	26.2 × 38.3
41	身延川裏不二	みのぶがわうらふじ	前北斎為一筆	25.8 × 38.0
42	相州仲原	そうしゅうなかはら	前北斎為一筆	25.0 × 36.2
43	駿州大野新田	すんしゅうおおのしんでん	前北斎為一筆	25.5 × 38.0
44	駿州片倉茶園ノ不二	すんしゅうかたくらちやえんのふじ	前北斎為一筆	25.3 × 37.0
45	東海道金谷ノ不二	とうかいどうかなやのふじ	前北斎為一筆	24.7 × 37.5
46	諸人登山	もろびととざん	前北斎為一筆	25.0 × 37.0

葛飾北斎「神奈川沖浪裏」順序摺((公財)アダチ伝統木版画技術保存財団 制作)

◇関連記事

【新聞・雑誌等】

秋田魁新報 3/30、4/8、4/22、5/9、5/16、5/30、5/26、5/28、6/6
河北新報 4/21
朝日新聞 (東北版) 4/18
『Mari Mari』 3/30、6/2

【Web】

暢遊(ちんゆう)日本 4/21～イベント終了まで(アプリ)



開会式・テープカット 4/20



講演会「世界を驚かせた北斎」4/21
浦上 満 氏 (浦上蒼穹堂代表) を講師にお迎えして

ii. 特別展

ABS秋田放送開局65周年

チームラボ 踊る!アート展と、学ぶ!未来の遊園地

会 期 2018(平成30)年6月30日(土)~9月2日(日)【65日間】
主 催 チームラボ秋田展実行委員会
(ABS秋田放送・秋田県立近代美術館)
後 援 横手市/横手市教育委員会/秋田魁新報社/河北新報社/
RAB青森放送/テレビ岩手/ミヤギテレビ/山形新聞/
山形放送/横手かまくらFM/エフエムゆーとぴあ/FMはなび
特別協賛 秋田スズキ/サンコーホーム
協 賛 秋田プライウッド
協 力 ペンてる
担 当 奈良 香、高橋輝樹

デジタル領域を中心に独創的な事業を展開するウルトラテクノロジー集団チームラボの、世界でも評価の高いアート作品と、全国各地で大人気の「学ぶ!未来の遊園地」作品を結集し、東北初の規模で展開した。会期中は8万人を超える来場者にお越しいただき、盛況だった。



出品作品

- 《百年海図巻》
- 《花と人、コントロールできないけれども、共に生きる》
- 《世界はこんなにもやさしく、うつくしい》
- 《追われるカラス、追うカラスも追われるカラス、そして超越する空間》
- 《花と共に生きる動物達》
- 《お絵かき水族館》
- 《すべって育てる! フルーツ畑》
- 《小人が住まうテーブル》
- 《小人が住まう奏でる壁》

全9作品

◇関連記事

【新聞・雑誌等】

秋田魁新報	1/3、7/4
毎日新聞	6/28
北鹿新聞	7/12
河北新報	7/22
『市報よこて』	6/15、7/1、7/15、8/1、8/15、9/1
『Mari Mari』	6/29
『ザ・マイカー』	6/20号
『Bouquet』	6/29
『教育あきた』	6月号
『SING』	7/14
『秋田ふるさと村NEWS』	7・8月号
『秋田タウン情報』	7月号
『美術屋百兵衛』	第46号
『Take up!』	7月号
『rakra』	7・8月号

『あっぷる』	7月号
『月刊アンドナウ』	7月号、8月号
『MamaFami』	7・8月号
『どあっぷ』	7月号
『クルール』	8月号
『仙台闊歩』	9月号
『美術の窓』	9月号

【テレビ・ラジオ】

ABS秋田放送	6/24、6/29、7/4、7/6、7/13、8/6、8/16
NHK秋田放送局	6/29
エフエム秋田	7/6
エフエムゆーとぴあ	7/17

【Web】

美術手帖ART NAVI	6月中旬～会期終了
ART AGENDA	6月中旬～会期終了



《花と人、コントロールできないけれども、共に生きる》5階 第2展示室
花の香り漂う空間に、咲いては消える色とりどりの花たち



開会式 5階中央ホール 6/29
チームラボキッズ代表・松本明耐氏よりごあいさついただきました。



《世界はこんなにもやさしく、うつくしい》5階 第3展示室
漢字に触れることで、一期一会の光景が次々と現れます。



《お絵かき水族館》6階 第2展示室
みんなのデザインしたお魚が、のびのびと泳ぎ回りました。

iii. 特別展

鴻池朋子 ハンターギャザラー

会 期 2018(平成30)年9月15日(土)～11月25日(日)【72日間】
 主 催 鴻池朋子展実行委員会
 (ABS秋田放送・秋田県立近代美術館)
 後 援 横手市／横手市教育委員会／秋田魁新報社／河北新報社／
 横手かまくらFM／エフエムゆーとぴあ／FMはなび
 担 当 鈴木 京、藤井正輝

現代美術家・鴻池朋子の県内初となる大規模個展。今回の展覧会は、鴻池氏が展覧会を企画・構成。テーマ性、展覧会規模ともにスケールの大きいダイナミックな展示となった。期間中は鴻池氏の2度のアーティストトークに加え、現代美術家の山川冬樹氏を迎えたパフォーマンス「Frozen River」、ゲームデザイナーの大山功一氏によるカードゲーム「精霊のババヌキ」など、イベントも充実。来場者のアンケートでも非常に高い満足の声を得た。



中央ホール				
番号	作品名	メディア	制作年	展示サイズ(H×W×D)cm 備考
1	皮緞帳 Drop curtain of cowhide 12人のホワイト 12 paupers	牛革、クレヨン、水彩	2015	600×2400
		牛革、クレヨン、水彩	2015	—
赤スロープギャラリー ファイヤーリム fire rim				
番号	作品名	メディア	制作年	展示サイズ(H×W×D)cm 備考
2	映像「Upstream of moon bear vol.1」(部分) video work Upstream of moon bear	映像 1分39秒/Blu-ray	2018	—
3	美術館ロッジ/舟 Lodge the Art Museum Project boat	ミクストメディア、鉛筆	2012	75×257×95
4	陸にあがる(左脚) go ashore/left leg	ミクストメディア、FRP	2017	264×125×52
5	planet #2 high notes	ミクストメディア、アクリル	2013	80×90×90
6	凧 バンブルビー Kite bumblebee	和紙、竹ひご、水彩	2018	80×111.6
7	ツギハギ小屋 Narative the pached lodge	アルミフレーム、牛革、綿、染料	2015	280×274×356
第4展示室 ドリーム ハンティング グラウンズ Dream Hunting Grounds				
番号	作品名	メディア	制作年	展示サイズ(H×W×D)cm 備考
8	Dream Hunting Grounds カービング壁画 Dream Hunting Grounds Carving Painting	シナベニヤ、水彩	2018	364×910
9	Dream Hunting Grounds インスタレーション Dream Hunting Grounds installation	毛皮(クマ、オオカミ、シカ、 テン他)	2018	—
	山ジオラマ(大) mountain diorama(L)	ミクストメディア	2013	77×230×172
	隠れマウンテン シャイニング/L Hidden Mountain Shining(L)	ミクストメディア(鏡、木、アルミ、 スタイロフォーム、パールetc.)	2011	56×163×108
	隠れマウンテン シャイニング/S Hidden Mountain Shining(S)	ミクストメディア(鏡、木、アルミ、 スタイロフォーム、パールetc.)	2011	29×58×58
	秋田おはら節 独唱	おはら節/68分58秒/CD	2018	—
第3展示室 山と墓と地図 mountain, grave, map				
番号	作品名	メディア	制作年	展示サイズ(H×W×D)cm 備考
10	美術館ロッジ 壁画 Lodge the Art Museum project mural painting	牛革、水彩	2014	333×515.8×5
11	美術館ロッジ 映像 video work Lodge the Art Museum project installation work	映像 6分47秒/SDHC	2014	—
12	秋田神話地図 Akita Myth map	紙、水彩	2012	67×53

13	奥羽山脈地図(制作中) Ou mountains map	紙、鉛筆	2011~	—	
14	隠れマウンテン逆登り Hidden Mountain Reverse (front view)	アクリル、墨、胡粉、金箔、雲肌麻紙(襖)、漆粹	2011	378×564×3	
15	揺れる島 Shaking island	紙、水彩、金箔	2011	175.2×135×5	
16	地球断面図 Globe cross section map	鉛筆、紙、綿布		49×80×5	
17	地球断面図 ウロボスカル図法 Globe cross section map ouroboscal drawing	鉛筆、紙、綿布	2006	49×80×5	
18	planet #1 first words	ミクストメディア(FRP、スタイロフォーム他)	2013	60×50×50	
19	山ジオラマ(火口に顔) インスタレーション mountain diorama installation	ミクストメディア	2017	81×130×123	
	ドイツ箱 タンポポ specimen box dandelion seed	ミクストメディア、タンポポ種子	2018	13.0×50.6×41.4	
	ドイツ箱 カービングチップ specimen box carving chips	ミクストメディア、削りくず	2018	13.0×50.8×41.6	
20	高天原山(御巢鷹山)ジオラマ Takamagahara mountain diorama	ミクストメディア	2018	41×56×58	
	黒曜石 obsidian/Jomon period	黒曜石	縄文時代	—	秋田県埋蔵文化財センター (ヲフキ遺跡[にかほ市]出土)
21	ツキノワ夜空 インスタレーション Moon bear night sky installation	ツキノワ毛、布、紙、絨、ビーズ、パルコート	2018	286×184×135	
	森吉避難小屋模型 そり Moriyoshi mountain hut 1/50 scale model sled	木、紙ほか	—	—	
	凧 ウンモンズズメ Kite Callambulyx tatarinovii	和紙、竹ひご、水彩	2018	67×104	
	コウモリ皮絵	牛革、水彩、キャンバス	2015	73×61×2	
22	骨角器 針7点 bone tool needles/Jomon period	骨、角	縄文時代前期	—	青森県教育庁文化財保護課 (三内丸山遺跡出土)
	骨角器 錐(きり)2点 bone tool gimlets/Jomon period	骨、角	縄文時代前期	—	青森県教育庁文化財保護課 (三内丸山遺跡出土)
	レプリカ(複製品)一式 replica	エポキシ樹脂に彩色	1994	—	青森県教育庁文化財保護課
23	ドイツ箱 ヤマトシジミ specimen box Zizeeria maha	ミクストメディア	2018	17.8×50.8×41.6	
24	霧島アートの森マップ Kirishima open-air museum forest map	—	2009	—	
	精霊の森マップ Spirit forest map	—	2013	—	
	六森未来図(森美術館ワークショップ) Rokumori future map/Mori Art Museum	—	2009	—	
	倉敷謎マップ(大原美術館ワークショップ) Kurashiki Nazo map/Ohara Museum of Art	—	2006	—	
25	石錐(せきすい/石製のきり)	—	旧石器時代	—	秋田県埋蔵文化財センター (八木遺跡[横手市]出土)
	スクレーパー、ナイフ形石器、台形石器	—	後期旧石器時代	—	秋田県埋蔵文化財センター (縄手下遺跡[能代市]出土)
	ナイフ形石器、台形様石器	—	後期旧石器時代	—	秋田県埋蔵文化財センター (小出I遺跡[大仙市]出土)
	ドローイング 鳥の巣 タンポポの種 drawings, bird's nest, dandelion seeds	—	—	—	
26	古木フレーム 鹿 ペンスクラッチ	水性インク、鹿毛皮、毛糸	2018	88×70×5	
第2展示室-1 クレイジー ゲーム crazy game					
番号	作品名	メディア	制作年	展示サイズ(H×W×D)cm	備考
27	おとぎ話ブローチ Dream Hunting Grounds wonder tale brooch Dream Hunting Grounds	紙、鉛筆、コルク	2018	—	
	冬かるた Winter Karuta (card game)	紙、色鉛筆	2007	—	
28	カレワラ叙事詩 Kalevala-Finnish epic	毛皮(ヒグマ、オオカミ)、布、刺繍	2017	220.0×176.5×86.7	
29	Dream Hunting Ground カービングタブロー 右より 蛇1、 蝙蝠(薄インジゴ)、ツキノワ、山、蛇2、蝙蝠(濃インジゴ) Dream Hunting Ground carving tableau snake1, bats/pale indigo, moon bear, mountain, snake 2, bats/dark indigo	シナベニヤ、水性ステイン	2018	90×60×0.6	
30	カービング、木版画、版木 carvings, woodblock prints, woodblocks	シナベニヤ、和紙、水彩	2015~2018	—	
31	バーンウッドドア カービング風景 Barn wood door carving installation	—	2018	—	
32	やわらかいものを齧ってばかり インスタレーション “Because the squirrels always biting soft things, their teeth have grown” installation	クッション、水性筆ペン、ヘビ /かぎ針編み縫いぐるみ	2018	—	

第2展示室-2 映像 video works

番号	作品名	メディア	制作年	展示サイズ(H×W×D)cm	備考
33	映像 北の長持唄 video work Akita folk song Nagamochi-uta	映像 8分8秒/microSD	2018	—	
	映像 ツキノワ川を登る video work Upstream of moon bear	映像 8分8秒/microSD		—	

第2展示室-3

番号	作品名	メディア	制作年	展示サイズ(H×W×D)cm	備考
34	陸にあがる (右脚) go ashore/right leg	ミクストメディア、FRP	2017	263.8×175.5×175	
35	古木フレーム 鹿山菜	刺繍、鹿毛皮、毛糸	2018	88×70×5	

第1展示室 物語るテーブルランナー The Storytelling Table Runner

番号	作品名	メディア	制作年	展示サイズ(H×W×D)cm	備考
36	物語るテーブルランナー (秋田、阿仁合、奥能登、タスマニア、青森) The Storytelling Table Runner Project (Akita, Aniai, Okunoto, Tasmania, Aomori)	ミクストメディア (布、毛糸、羊毛フェルト、刺繍糸他)	2014~	—	
37	映像 裁縫女 video work Sewing women	映像 5分35秒/Blu-ray	2015	—	
	物語るテーブルランナー下絵 (進行中のフィンランドの語り) Drawings for The Storytelling Table Runner (Finnish storytellers)	紙、鉛筆	2018	—	
38	着物「鳥」 Kimono “Bird”	羊毛フェルト、鳥の羽、布	2015	327×203	
39	風が語った昔話 A Fable Told by the Wind	ミクストメディア	2015	238×220×3	
40	毛糸タペストリー 制作風景 Upstream of moon bear tapestry / Now At Work	—	2018	—	
41	ドキュメント映像「狼との遠吠え in Lapland」 video work document “Howling with wolves in Lapland”	映像 1分21秒/Blu-ray	2018	—	

会場内テキスト text

番号	作品名	メディア	制作年	展示サイズ(H×W×D)cm	備考
A	『木杵のなかで宗教を想う』	江川純一	2018		
B	『ロンドンのカレー屋で』	村井まや子 × 鴻池朋子	2018		
C	『刺しては縫うものがたり』	artist	2018		
D	『語り。それはそっくりそのまま語る、移しかえるんだ けれども、それはそっくりそのままには移らない』	三浦佑之 × 鴻池朋子	2018		
E	『大切なことは言葉にしない』	artist	2018		
F	『Hunter Gatherer』	artist	2018		

◇関連記事

【新聞・雑誌等】

河北新報	地域交流版「横手・秋田県立近代美術館 15日から鴻池さんの個展」4面	9/13
秋田魁新報		21面 9/24
河北新報	「河北春秋」	9/25
秋田魁新報	「ギャラリートーク 鴻池朋子 ハンターギャザラー」	10/15
北鹿新聞		6面 10/18
毎日新聞	夕刊「展覧会評 鴻池朋子 ハンターギャザラー」	10/24
秋田魁新報	「横手菊祭り開幕」	10/28
秋田魁新報	「秋田種苗交換会特集号」への広告掲載	10/29
秋田魁新報	「テーマは『狩猟採集』鴻池朋子さん作品集を刊行」	10面 11/14
『美術屋 百兵衛』	第46号(『盆栽世界』8月号増刊) 麗人社	7/8
『月刊美術』	8月号	7/20
『芸術新潮』	9月号	8/25
『あきたびじょん』	9、10月号	
『美術展びあ』	2018年秋・冬号 ぴあ株式会社	9/10
『andnow』	408号(9月号)	8/25
『rakra』	9・10月号	8/25
『ブレーン』	10月号	9/1
『美術の窓』	9月号 生活の友社	9/20
『教育あきた』	9月号	
『CREA』	第30巻第8号	10/1
『AREAi』	vol.42	10/1

『月刊MOE』	11月号 白泉社 10/3
『Spring』	11月号 宝島社 10/23
『エクラ』	12月号 集英社 11/1
『仙台闊歩』	11月号 プレスアート 11/1
『いけ花龍生』	11月号 龍生華道会 11/1
『大人のおしゃれ手帖』	11月号 宝島社 11/7
『Mari Mari』	さきがけアドブレーション 10/12

【テレビ】

NHK 夕方ニュース	9/14
ABS 夕方ニュース	9/14
NHK 日曜美術館 アートシーン	10/14

【Web】

インターネットミュージアム (2018.6/9～)	http://www.museum.or.jp/modules/im_event/?controller=event_dtl&input[id]=90512
MIRAI	https://kizunamirai.com/index.php?m=5
美術手帖	https://bijutsutecho.com/exhibitions/2425
ArtiT	https://www.art-it.asia/top/admin_ed_pics/190863
なんも大学「秋田のいいところ ハンターギャザラーの、その先にあったもの」	https://nanmoda.jp/2018/10/4229/
アートアジェンダ	https://www.artagenda.jp/exhibition/detail/2597



《 Dream Hunting Grounds カービング壁画 》5階 第4展示室



鴻池朋子アーティストトーク ①回目の9/15は5階中央ホールを会場に《皮緞帳》の前で、②回目の11/24は6階研修室で行った。

パフォーマンス&トーク「Frozen River」10/28

現代美術家・山川冬樹氏、鴻池朋子氏によるパフォーマンスとトークのイベントを行った。展示室内を会場に、参加者はインスタレーション「Dream Hunting Grounds」(毛皮山脈)の周りで輪になって座りイベントに参加。鴻池氏のオオカミの遠吠えを皮切りに、参加者も遠吠えをすると、会場の空気は「Frozen River」の世界に一変。鴻池氏のインスタレーションの空間内で、遠吠えから、創作物語「Dream Hunting Grounds」朗読の声、山川氏のイギル演奏とホーメイ、鴻池氏のおはら節と、次々に声と音が響き渡る。光と影、音が交錯する迫力のあるイベントとなった。また、パフォーマンス終了後は、両氏によるトークイベントも行われ、こちらも盛況だった。



iv. 特別展

横山津恵展

会 期 2018(平成30)年12月1日(土)～2019(平成31)年2月11日(月・祝)【59日間】
 【休館】 12月29日(土)～12月31日(月) 年末休館
 1月15日(火)～1月24日(木) メンテナンス休館

主 催 秋田県立近代美術館
 後 援 横手市／横手市教育委員会／秋田魁新報社／河北新報社／
 朝日新聞秋田総局／毎日新聞秋田支局／読売新聞秋田支局／
 NHK秋田放送局／AKT秋田テレビ／AAB秋田朝日放送／
 エフエム秋田／横手かまくらFM／エフエムゆーとぴあ／FMはなび
 担 当 藤井正輝、奈良 香

2007(平成19)年に90歳で亡くなられた、秋田市出身の日本画家・横山津恵の回顧展を開催した。本展では、横山の初期から晩年までの作品63点と、横山の最初の師である日本画家・高橋萬年の作品1点を展示。そのうち4点は、秋田市立千秋美術館、県立金足農業高等学校、秋田市立岩見三内中学校から、横山の初期の頃の作品を借用した。あわせて横山が残した膨大な量の資料から厳選したスケッチ数十枚や制作ノート、愛用した画材等も展示した。また、横山の幼少期から晩年までを写した写真から約50枚を選んでスライドショーを作成し、展示室内に設置した大型モニターで上映した。長年にわたり自身が本当に描きたいものを追究し続け、苦勞の末にみずみずしいヴィーナスたちを誕生させた横山の変遷が伝わるような構成とした。



第1展示室

No	作品名	制作年	素材・形状	寸法(縦×横)cm	備考
1	髪	1947(昭22)	絹本着色	88.0 × 57.4	第12回秋田美術展
2	天神(仮題)	制作年不詳	絹本着色	127.3 × 42.6	高橋萬年 作
3	婦人像	1948(昭23)頃	絹本着色	78.5 × 55.1	秋田県立金足農業高等学校蔵
4	淳子	1949(昭24)	紙本着色	151.0 × 91.0	第2回秋田県総合美術展
5	少女	1953(昭28)頃	絹本着色	79.0 × 57.2	秋田市立千秋美術館蔵
6	少女	1953(昭28)頃	絹本着色	80.4 × 56.2	秋田市立岩見三内中学校蔵
7	三人	1948(昭23)	絹本着色	146.0 × 146.0	秋田市立千秋美術館蔵
8	椅子	1950(昭25)	紙本着色	149.0 × 170.0	第3回秋田県総合美術展
9	草の上	1953(昭28)	紙本着色	125.5 × 119.0	再興第38回院展
10	蛙	1957(昭32)	紙本着色	197.0 × 167.0	再興第42回院展
11	苗の頃	1958(昭33)	紙本着色	175.7 × 211.2	再興第43回院展
12	網干し場	1961(昭36)	紙本着色	182.0 × 227.6	再興第46回院展
13	湖の譚	1965(昭40)	紙本着色	227.0 × 181.7	再興第50回院展
14	花市の女たち	1963(昭38)	紙本着色	151.5 × 227.3	再興第48回院展
15	沼	1964(昭39)	紙本着色	181.0 × 226.0	再興第49回院展

第2展示室

No	作品名	制作年	素材・形状	寸法(縦×横)cm	備考
16	花	1965(昭40)	紙本着色	119.2 × 70.9	第20回日本美術院春季展
17	犬っこ市	1966(昭41)	紙本着色	151.5 × 76.4	第21回日本美術院春季展
18	犬コ市	1966(昭41)	紙本着色	227.0 × 181.5	再興第51回院展
19	伽縷羅	1967(昭42)	キャンバス着色	212.6 × 175.3	再興第52回院展

20	マリオネットなど	1968(昭43)	紙本着色	175.8 × 220.7	再興第53回院展
21	なまはげのくる日	1969(昭44)	紙本着色	151.5 × 76.2	—
22	なまはげのくる日	1969(昭44)	紙本着色	122.0 × 60.5	第33回河北美術展招待出品
23	なまはげのくる日	1969(昭44)	紙本着色	151.7 × 75.5	仙台美術館開館記念河北美術展招待展
24	北国	1969(昭44)	紙本着色	181.0 × 227.0	再興第54回院展
25	女たち	1970(昭45)	紙本着色	172.0 × 217.4	再興第55回院展
26	海の譜	1971(昭46)	紙本着色	180.0 × 225.5	再興第56回院展・奨励賞・白寿賞・G賞
27	花の譜	1972(昭47)	紙本着色	182.0 × 227.3	再興第57回院展
28	双生	1971(昭46)	紙本着色	105.0 × 105.0	第26回春の院展・奨励賞
29	花と貝	1972(昭47)	紙本着色	106.3 × 106.2	第27回春の院展・奨励賞
30	花陰	1973(昭48)	紙本着色	106.5 × 106.4	第28回春の院展
31	華と猫	1973(昭48)	紙本着色	182.3 × 227.7	再興第58回院展・奨励賞・白寿賞・G賞
32	五月の花	1974(昭49)	紙本着色	172.3 × 217.5	再興第59回院展・奨励賞
33	花埋み	1974(昭49)	紙本着色	103.0 × 102.9	第29回春の院展・奨励賞
34	山のマロニエ	1975(昭50)	紙本着色	218.8 × 172.7	再興第60回院展・奨励賞

第3展示室

No	作品名	制作年	素材・形状	寸法(縦×横)cm	備考
35	野	1976(昭51)	紙本着色	97.0 × 103.2	第31回春の院展・奨励賞
36	野	1976(昭51)	紙本着色	164.1 × 209.5	再興第61回院展
37	白杵曼荼羅	1978(昭53)	紙本着色	174.0 × 219.0	再興第63回院展・奨励賞
38	横臥裸婦	1977(昭52)	紙本着色	172.8 × 218.0	再興第62回院展・奨励賞
39	沖縄の踊り子	1979(昭54)	紙本着色	97.5 × 103.3	第34回春の院展・無鑑査
40	珊瑚礁Ⅰ	1979(昭54)	紙本着色	174.0 × 222.2	再興第64回院展・奨励賞
41	珊瑚礁Ⅱ	1980(昭55)	紙本着色	89.2 × 101.0	第35回春の院展・奨励賞
42	珊瑚礁Ⅲ	1980(昭55)	紙本着色	174.0 × 222.0	再興第65回院展
43	珊瑚礁Ⅳ	1981(昭56)	紙本着色	130.3 × 162.1	第6回山種美術館賞展
44	珊瑚礁Ⅴ	1981(昭56)	紙本着色	145.5 × 69.7	第36回春の院展・奨励賞
45	珊瑚礁Ⅶ	1983(昭58)	紙本着色	139.9 × 92.3	第38回春の院展
46	珊瑚礁Ⅵ	1981(昭56)	紙本着色	175.3 × 220.0	再興第66回院展・奨励賞・白寿賞・G賞
47	珊瑚礁Ⅸ	1987(昭62)	紙本着色	181.0 × 227.0	再興第72回院展
48	更紗裸婦	1986(昭61)	紙本着色	65.2 × 91.0	1986年女流画家展
49	珊瑚礁Ⅷ	1985(昭60)	紙本着色	159.8 × 217.0	再興第70回院展・奨励賞

第4展示室

No	作品名	制作年	素材・形状	寸法(縦×横)cm	備考
50	裸婦	1985(昭60)	紙本着色	97.1 × 102.1	第40回春の院展・奨励賞
51	裸婦	1984(昭59)	紙本着色	99.2 × 99.2	第39回春の院展・奨励賞
52	少女横臥	1984(昭59)	紙本着色	172.5 × 211.2	再興第69回院展・奨励賞
53	遙	1986(昭61)	紙本着色	95.5 × 100.5	1987年女流画家展
54	フィレンツェの窓	1989(平元)	紙本着色	165.0 × 217.0	再興第74回院展
55	五月Ⅰ	1990(平2)	紙本着色	165.0 × 217.0	再興第75回院展
56	五月Ⅱ	1991(平3)	紙本着色	221.0 × 176.0	再興第76回院展
57	風の声	1988(昭63)	紙本着色	91.0 × 60.6	1989年女流画家展
58	花籠	1990(平2)	紙本着色	88.5 × 102.5	1991年女流画家展
59	夕月の巴里	1991(平3)	紙本着色	143.8 × 72.2	第46回春の院展
60	エレヌ	1990(平2)	紙本着色	80.5 × 112.5	第45回春の院展
61	エレヌ	1991(平3)	紙本着色	91.0 × 60.6	1992年女流画家展
62	続エレヌ	1992(平4)	紙本着色	65.2 × 100.0	1993年女流画家展
63	座	1992(平4)	紙本着色	143.9 × 69.0	第47回春の院展
64	燈燐ふたたび	1993(平5)	紙本着色	96.0 × 106.0	第48回春の院展

◇関連記事

【新聞・雑誌等】

秋田魁新報	さきがけギャラリートーク 12/19
秋田魁新報	県南版 1/7
週間さきがけスポーツ	「お出掛け情報」
朝日新聞	(東北版)朝刊 マリオン欄「美術館・博物館」表 11/28
毎日新聞	美術館ガイド
読売新聞	イベント告知欄(水曜掲載)
中日新聞	12/28
北鹿新聞	11/29
『新美術新聞』	No. 1490～1494
『芸術新潮』	12月号～2月号
『芸新手帳』	2019年
『月刊美術』	No. 520～No. 521
『ギャラリー』	12月号～2月号
『教育あきた』	12月号裏表紙
『博物館研究』	12月号～2月号
『市報よこて』	12/1～2019. 2/1
『月刊アンドナウ』	12月号
『月刊どあっぷ』	12月号～2月号
『rakra ラ・クラ』	1・2 vol.92
『仙台Kappo』	
『ザ・マイカー』	2月号
『あおぼ』	
『美じょん新報』	第231号 12/20
『Mari Mari』	読者プレゼント 1/11
『博物館研究』	1月号 No. 54
『美連協ニュース』	No. 140
『地域創造レター』	No. 286

【テレビ・ラジオ】

ABS秋田放送 NEWS every	12/6 ①11:30、②18:26
広報番組「あきたびじょんNEXT」	(県広報一元化)
ABS秋田放送	テレビCM ラジオCM ホームページ
横手かまくらFM	ラジオCM

【Web】

横手市 Facebook
Walker plus
美術館・博物館情報サイト アートアジェンダ
ウェブ版「美術手帖」
インターネットミュージアム



5階 第2展示室 (横山津恵50代の作品を展示)



第1展示室のぞきケース (初期の頃のスケッチ・制作ノート)

iv. 企画展

美術館の眼Ⅶ

会 期 2019(平成31)年2月16日(土)～4月21日(日)【65日間】
 主 催 秋田県立近代美術館
 後 援 横手市／横手市教育委員会／秋田魁新報社／河北新報社／
 朝日新聞秋田総局／毎日新聞秋田支局／読売新聞秋田支局／
 産経新聞社秋田支局／日本経済新聞社秋田支局／
 NHK秋田放送局／ABS秋田放送／AKT秋田テレビ／
 AAB秋田朝日放送／エフエム秋田／横手かまくらFM／
 エフエムゆーとぴあ／FMはなび
 担 当 鈴木秀一、鈴木 京

開館から25年を経過し、その間に調査研究を通じて当館の所蔵となった作品は2,700点を超えた。「美術館の眼」は、そうして入手した作品や資料を紹介する展示で、8回目となる今回は平成26年から30年にかけて登録された、日本画・洋画・版画・彫刻・書・素描等の中から代表的な作品を展示した。展示した作品のうち、近藤良悦、松本 勝、村野深秋、大野源二郎の作品は、当館では初めての所蔵品である。

企画展 美術館の眼Ⅶ
 平成31年2月16日(土)～4月21日(日)
 秋田県立近代美術館 5階展示室
 午前9時30分～午後5時 観覧無料
 ※入館は午後4時30分まで

大野 源二郎 OHTSUKA, Genjiro
 木島 恭一 KUMADA, Kyuichi
 近藤 良悦 KUNIKIDA, Ryuetsu
 斎藤 寅彦 SATO, Tamehiko
 佐藤 文雄 SATO, Fumio
 高橋 功 TAKAHASHI, Isamu
 田宮 進 TAMAGAWA, Shigeo
 桜庭藤二郎 SHIBAHARA, Fumio
 佐々木裕久 SAKAKIMOTO, Yukiaki
 高橋 萬年 TAKAHASHI, Manen
 橋 小夢 HOSHI, Komu
 寺崎 廣業 TERAZAKI, Hiroyasu
 中野 啓徳 NAKANO, Keitoku
 福田豊四郎 FUKUDA, Toyonobu
 松本 勝 MATSUMOTO, Katsu
 村野 深秋 MURANO, Fushiko
 宇野 重吉 UENO, Shigeo
 大野源二郎 OHNO, Genjiro
 高橋 功 TAKAHASHI, Isamu
 高橋 萬年 TAKAHASHI, Manen
 針生 謙助 HANENAGA, Kenosuke
 藤田 敏治 FUJITA, Toshiharu
 豆原 啓生 MAMEHARA, Keisuke
 工藤 健 ITOH, Ken
 白鳥 穂子 SHIRAITO, Hoko
 藤田 敏治 FUJITA, Toshiharu

未見を、発見。

第1展示室：洋画

No	作家名	作品名	制作年	技法・素材・形状	寸法(縦×横)cm
1	高橋 功	十月の月 La lune d'Octobre	1997(平成 9)	板、油彩	55.0 × 17.0
2	高橋 功	光(黄色) Lumier(Jaune)	1998(平成10)	板、油彩	40.0 × 49.0
3	高橋 功	雄物川町に雪が降る Lareige tembe sur Omonogawa-machi	1997(平成 9)	板、油彩	123.6 × 84.0
4	田宮 進	アンサンブル	1959(昭和34)	キャンバス、油彩	130.3 × 97.0
5	近藤 良悦	男鹿岩図	制作年不詳	キャンバス、油彩	53.0 × 45.5
6	佐藤 義雄	スペイン風コスチューム	制作年不詳	キャンバス、油彩	72.7 × 60.6
7	大原 省三	座像	制作年不詳	キャンバス、油彩	145.2 × 97.5
8	大原 省三	座像	制作年不詳	キャンバス、油彩	81.4 × 65.0
9	佐藤 文雄	花の室	制作年不詳	キャンバス、油彩	130.3 × 97.0
10	斎藤 寅彦	時の跡 [繋ぐ]	2007(平成19)	油彩、テンペラ	162.0 × 130.3
11	斎藤 寅彦	時の跡2002年3月31日	2002(平成14)	油彩	181.8 × 227.3
12	斎藤 寅彦	時の跡'12	2012(平成24)	油彩、テンペラ、アキーラ	162.0 × 227.3
13	木島 恭一	旅路トレドの道	1970(昭和45)	キャンバス、油彩	130.3 × 162.2

第2展示室：日本画

No	作家名	作品名	制作年	技法・素材・形状	寸法(縦×横)cm
14	平福 百穂	雙鶴	1933(昭和 8)	紙本墨画着色(金潜紙)額装	78.3 × 83.5
15	松本 勝	椿	制作年不詳	紙本着色額装	150.0 × 194.5
16	村野 深秋	つどひ	制作年不詳	紙本着色額装	164.0 × 195.0
17	福田豊四郎	田園七曜集(土拓く)	1934(昭和 9)	紙本着色額装	66.6 × 70.5
18	福田豊四郎	月夜	1954(昭和29)	紙本着色4曲1隻	166.7 × 257.5
19	福田豊四郎	鴉(からす)	1940(昭和15)	紙本銀地着色6曲1双	各168.5 × 372.0
20	寺崎 廣業	美人観月図	制作年不詳	絹本着色軸装	119.7 × 57.3
21	寺崎 廣業	富嶽海辺図	1899(明治32)	紙本着色6曲1双	各153.7 × 341.8
22	橋 小夢	花車	1965(昭和40)頃	絹本着色2曲1隻	107.0 × 107.0
23	橋 小夢	立雛	1960(昭和35)頃	紙本着色軸装	35.0 × 43.0
24	高橋 萬年	山水(草生津川新緑)	制作年不詳	絹本着色軸装1幅	130.6 × 35.0
25	高橋 萬年	松とススキ	1923(大正12)	絹本着色軸装1幅	126.2 × 41.2
26	桜庭藤二郎	溪	1979(昭和54)	紙本着色額装	106.0 × 106.0
27	桜庭藤二郎	凍河に春が	制作年不詳	紙本着色額装	116.7 × 90.9
28	佐々木裕久	地の華(破)	1979(昭和54)	紙本着色額装	62.2 × 90.2

第3展示室：写真・書・版画・素描

No	作家名	作品名	制作年	技法・素材・形状	寸法(縦×横)cm
29	大野源二郎	横手のかまくら	1962(昭和37)	ゼラチン・シルバー・プリント	34.9 × 24.8

30	大野源二郎	湯治場の老婆	1959(昭和34)	ゼラチン・シルバー・プリント	34.6 × 26.5
31	大野源二郎	雪国 (10点組)	1986(昭和61)他	ゼラチン・シルバー・プリント	21.6 × 30.3
32	赤星 藍城	二別観楓	制作年不詳	墨、紙/軸装	112.2 × 45.0
33	赤星 藍城	行書 桃李園序	1926(昭和元)	6曲1隻	各137.0 × 33.0
34	藤田 嗣治	八千代の肖像画	制作年不詳	紙本墨書	24.0 × 17.0
35	東郷 青児	八千代の肖像画	制作年不詳	紙本墨書	24.0 × 17.0
36	斎藤 寅彦	早春露の臺 (A)	2012(平成24)	紙、水彩	39.2 × 54.7
37	斎藤 寅彦	時の跡 [繋ぐ] エスキース	2007(平成19)	紙、鉛筆、水彩・ジェッツ	54.7 × 39.3
38	斎藤 寅彦	イソヒヨドリ エスキース	2014(平成26)	紙、色鉛筆	39.5 × 54.7
39	橘 小 夢	海辺の春 (小下図)	制作年不詳	紙、鉛筆・顔彩	31.2 × 34.5
40	橘 小 夢	傀儡師 (小下図)	制作年不詳	紙、鉛筆・顔彩	31.0 × 34.5
41	橘 小 夢	水妖 (小下図)	制作年不詳	紙、鉛筆・墨・朱	58.3 × 40.5
42	高橋 万年	写生帳 (上野動物園)	1941(昭和16)	紙、鉛筆・淡彩	28.0 × 36.0
43	高橋 万年	写生帳	制作年不詳	紙、鉛筆・淡彩	36.0 × 50.0
44	高橋 万年	写生帳	制作年不詳	紙、鉛筆・淡彩	36.0 × 50.0
45	針生 鎮郎	シャボン玉のような月	1986(昭和61)	紙・鉛筆、水彩	33.2 × 24.3
46	針生 鎮郎	エスキース「ひとつ」	1982(昭和57)	紙・鉛筆、水彩	48.3 × 56.1
47	針生 鎮郎	エスキース「フクロウ」	制作年不詳	紙、鉛筆	50.4 × 68.6
48	高坂 修司	好風 (こうふう)	2004(平成16)	額装	106.0 × 164.0
49	高坂 修司	駕浪 (がろう)	2004(平成16)	額装	75.0 × 161.0
50	針生 鎮郎	ひとつ	制作年不詳	紙、インク (シルクスクリーン)	84.1 × 61.1
51	針生 鎮郎	われる	1982(昭和57)	紙、インク (シルクスクリーン)	86.5 × 61.1
52	針生 鎮郎	ふたつ	1982(昭和57)	紙、インク (シルクスクリーン)	61.6 × 84.8
53	針生 鎮郎	梟 (ふくろう)	1979(昭和54)	紙、インク (シルクスクリーン)	64.7 × 50.5
54	針生 鎮郎	梟 (ふくろう)	1979(昭和54)	紙、インク (シルクスクリーン)	64.7 × 50.5

第4展示室：彫刻

No	作家名	作品名	制作年	技法・素材・形状	寸法(縦×横)cm
55	笠原 幸生	日没空2012	2012(平成24)	ホワイトブロンズ	45.0 × 40.0 × 30.0
56	笠原 幸生	日没海2011	2011(平成23)	ブロンズ	40.0 × 40.0 × 30.0
57	工藤 健	男と女	1972(昭和47)	ブロンズ	133.0 × 90.0 × 42.0
58	日高 頼子	海辺	1983(昭和58)	ブロンズ	25.0 × 42.0 × 20.0
59	峯田 敏郎	ひげの学生	1970(昭和45)	石膏	45.0 × 25.0 × 27.0
60	峯田 敏郎	ポーズする女	1969(昭和44)	F R P	180.0 × 55.0 × 56.0
61	峯田 敏郎	記念撮影—遠い日の風音・私のふるさと—	2016(平成28)	彫刻、桂	180.0 × 97.0 × 76.0

◇関連記事

【新聞・雑誌等】

さきがけスポーツ	2/21
読売新聞	3/6
北鹿新聞	3/28
『アンドナウ』	3月号
『どあっぷ』	3月号
『あっぷる』	4月号

【Web】

横手経済新聞	3/1
--------	-----



5階 第1展示室【洋画】



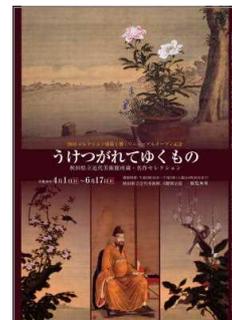
5階 第4展示室【彫刻】

i. 2018コレクション展

第Ⅰ期 リニューアルオープン記念 うけつがれてゆくもの

会期：2018(平成30)年4月1日(日)～6月17日(日) 【78日間】

担当：藤井正輝



第1・2展示室：秋田蘭画・日本画セレクション 【重文】：国指定重要文化財、【県有文】：秋田県指定有形文化財

No	作家名	作品名	制作年	技法・素材・形状	寸法(縦×横)cm
1	川端 玉章	四時群花図	1877(明治10)頃	絹本金地着色・額装	43.1 × 68.3
2	梶田 半古	孔雀図屏風	1908(明治41)頃	絹本金地着色・六曲一双	各172.0 × 376.0
3	柴田 是真	蘭亭曲水図	—	絹本着色・軸装	155.0 × 86.0
4	下村 観山	三保富士	1919(大正 8)	絹本金地着色・六曲一双	各167.0 × 370.0
5	横山 大観	雲中富士	1915(大正 4)頃	紙本金地着色・二曲一双	各169.0 × 178
6	寺崎 廣業	天平美人	1909(明治42)頃	絹本金地着色・二曲一双	各152.5 × 172.5
7※	小田野直武	不忍池図 【秋田蘭画/重文】	1770年代	絹本着色・額装	98.5 × 132.5
7※	小田野直武	唐太宗花鳥山水図 【秋田蘭画/重文】	1770年代	絹本着色・軸装三幅対	各122.0 × 44.5
8	沈 南 蘋	鶴 【県有文】	1738(元文 3)	絹本着色・軸装対幅	各110.0 × 50.0
9	平福 穂庵	乳虎 【県有文】	1890(明治23)	絹本墨画淡彩・軸装	82.4 × 159.5
10	結城 素明	不老富貴	—	絹本着色・軸装対幅	各127.0 × 41.8
11	町田 曲江	哀愍	1936(昭和11)	絹本着色・額装	229.0×113.6 / 229.0×71.0
12	鏑木 清方	松と梅	1918(大正 7)	絹本着色・額装	各169.0 × 176.0
13	小杉 放菴	黒真珠	1935(昭和10)	紙本着色・額装	46.3 × 55.5
14	小川 芋銭	草汁翁作海坊主	—	紙本墨画・軸装	径 60.6
15	酒井 三良	残照	1923(大正12)	絹本着色・軸装	136.0 × 112.0
16	平福 百穂	寒竹双鶴	1927(昭和 2)	絹本金地着色・六曲一双	各166.2 × 362.2
17	小 松 均	春の最上川	1974(昭和49)	紙本墨画淡彩・額装	各 94.0 × 368.0
18	福田豊四郎	月夜	1954(昭和29)	紙本着色・四曲一隻	166.7 × 257.5
19	福田豊四郎	田園七曜集(土拓く)	1934(昭和 9)	紙本着色・額装	60.6 × 70.5
20	堀川達三郎	暮彩	1987(昭和62)	キャンバス着色・額装	175.1 × 221.2
21	高橋 萬年	田	1951(昭和26)	紙本着色・二曲一双	各168.8 × 170.2
22	横山 津恵	山のマロニエ	1975(昭和50)	紙本着色・額装	218.8 × 172.7

※秋田蘭画は次の期間で展示替えを行った小田野直武《不忍池図》4/1～5/9、小田野直武《唐太宗花鳥山水図》5/10～6/17

第3展示室：油彩画・版画・工芸・書セレクション

No	作家名	作品名	制作年	技法・素材・形状	寸法(縦×横)cm
23	小西正太郎	緑衣の女の肖像	1925(大正14)	油彩、キャンバス・額装	91.0 × 73.0
24	田口 省吾	街の音楽	1931(昭和 6)	油彩、キャンバス・額装	112.1 × 145.5
25	藤田 嗣治	オペラ座の夢	1951(昭和26)	油彩、キャンバス・額装	23.0 × 28.0
26	佐藤 義雄	自画像	1935(昭和10)頃	油彩、キャンバス・額装	41.0 × 31.8
27	濱松小源太	作品	1930年代後半	油彩、キャンバス・額装	80.3 × 60.6
28	金沢秀之助	肉屋の店 【髷品】	1952(昭和27)	油彩、キャンバス・額装	162.0 × 130.3
29	岡田 謙三	高原	1939(昭和14)	油彩、キャンバス・額装	191.0 × 255.5
30	紺野 五郎	いくつかの出会い	1982(昭和57)	油彩、キャンバス・額装	162.1 × 261.0
31	石田 黙	白い静物(1971年)	1971(昭和46)	油彩、キャンバス・額装	162.1 × 130.6
32	馬 場 彬	Relation 1	1963(昭和38)	油彩、キャンバス・額装	91.0 × 91.0
33	山脇佐久子	拡張へ 98-1	1998(平成10)	油彩、キャンバス・額装	182.0 × 227.0
34	高 橋 功	永遠からの振動(白)	1993(平成 5)	油彩、合板・木	92.0 × 110.0
35	松井 如流	丹愚	1987(昭和62)	紙、墨・額装	166.0 × 87.0
36	勝平 得之	〈花四題〉 春(ツバキ)	1938(昭和13)	紙、木版・額装	67.2 × 36.9
37	勝平 得之	〈花四題〉 夏(ハス)	1938(昭和13)	紙、木版・額装	67.2 × 36.9
38	勝平 得之	〈花四題〉 秋(菊)	1939(昭和14)	紙、木版・額装	67.2 × 36.9
39	勝平 得之	〈花四題〉 冬(なんてん)	1939(昭和14)	紙、木版・額装	67.2 × 36.9
40	関谷 四郎	接合横線壺	1968(昭和43)	接合・鍍金・鍍金・鉄・銅・金	径 20.0 × 高 20.0
41	佐々木 英	蒔絵彩切貝水指「秋の日」	1978(昭和53)	銅・キハダ・彩切貝	径 15.5 × 高 20.0

関連記事 【新聞・雑誌等】秋田魁新報 2018. 4/2 県南版

ii. 2018コレクション展

第Ⅱ期 今こそ、旅しよう ー所蔵品でたどるすばらしき秋田ー

会期：2018(平成30)年9月10日(月)～11月11日(日) 【62日間】

担当：小林紀子



第1展示室：「今こそ、旅しよう」第1章 秋田おばこに会う 【県有文】：秋田県指定有形文化財

No	作家名	作品名	制作年	技法・素材・形状	寸法(縦×横)cm
1※	小田野直武	富嶽図【秋田蘭画／県有文】	1770年代(安永年間)	絹本着色・軸装	43.5 × 77.0
1※	小田野直武	雷魚図【秋田蘭画】	1770年代(安永年間)	紙本着色・軸装	25.0 × 28.5
3	小田野直武	写生帖【県有文】	1770年代(安永年間)	紙本着色・一帖	各 36.3 × 26.7
4	寺崎 廣業	小野小町	1899(明治32)頃	絹本着色・軸装	127.2 × 50.5
5	寺崎 廣業	美人観月図	—	絹本着色・軸装	118.5 × 50.5
6	藤田 嗣治	川反美人図絵	—	絹本墨画淡彩・額装	46.5 × 37.5
7	平福 百穂	鳳仙花と七面鳥	—	紙本着色・墨/岩絵具/顔彩	162.5 × 345.2
8	平福 百穂	草刈女	—	紙本着色・軸装	147.1 × 50.5
9	平福 百穂	柘榴小禽	1933(昭和 8)	紙本墨画淡彩・軸装	46.6 × 59.3
10	高橋 萬年	おばこ	—	紙本着色・額装	129.2 × 45.0
11	高橋 萬年	菊	—	絹本墨画淡彩・墨/顔彩	128.5 × 42.0
12	高橋 萬年	収穫	—	紙本着色・二曲一隻	167.6 × 211.6
13	福田豊四郎	秋田のマリヤ	1948(昭和23)	紙本着色・二曲一隻	179.3 × 222.4

※秋田蘭画は次の期間で展示替えを行った小田野直武《富嶽図》9/10～10/11、小田野直武《雷魚図》10/12～11/11

第1・2展示室：「今こそ、旅しよう」第2章 風景が語る秋田 ー忘れがたき ふるさとー

No	作家名	作品名	制作年	技法・素材・形状	寸法(縦×横)cm
14	福田豊四郎	熔鉱炉	1933(昭和 8)	紙本着色・額装	355.0 × 278.0
15	関谷 四郎	銀打出釜	1985(昭和60)	鍛金・鍍金・銀・金	径 22.5 × 高18.5
16	関谷 四郎	銀野草香炉	1985(昭和60)	鍛金・彫金/鍍金・銀・金	径 10.8 × 高12.0
17	関谷 四郎	銀打出水指	1984(昭和59)	鍛金・鍍金・銀・金	径 21.5 × 高12.0
18	福田豊四郎	同和鉱山小坂町精錬所	—	鉛筆、紙・水彩・額装	各 35.5 × 24.5
19	福田豊四郎	二ツ井町きみまち坂あたり七座山から見た風景	—	鉛筆、紙・水彩・額装	各 35.5 × 24.5
20	福田豊四郎	鳥海山	—	鉛筆、紙・水彩・額装	22.8 × 34.5
21	福田豊四郎	八幡平	1952(昭和27)	紙本着色・四曲一隻	133.0 × 239.0
22	福田豊四郎	十和田	—	紙本金地・衝立	105.0 × 114.5
23	福田豊四郎	山湖初秋	—	紙本着色	40.0 × 51.5
24	福田豊四郎	山湖遊行巻	1929(昭和 4)	紙本着色・一卷	66.0 × 1090.0
25	福田豊四郎	山の秋	1931(昭和 6)	紙本着色・六曲一双	各166.5 × 374.4
26	高橋 萬年	収穫 (仮題)	—	絹本着色・額装	37.4 × 117.6
27	高橋 萬年	刈り入れ	—	紙本着色・四曲一隻	167.6 × 336.8
28	千葉 禎介	湯治場・後生掛	1955(昭和30)頃	ゼラチン・シルバー・プリント	20.5 × 30.7
29	千葉 禎介	湯治場・黒湯	1955(昭和30)頃	ゼラチン・シルバー・プリント	20.9 × 30.6
30	小泉 淳作	春を待つ鳥海山	1995(平成 7)	紙本墨画淡彩	155.0 × 271.0
31	桜庭藤二郎	山湖	1965(昭和46)	紙本着色	169.0 × 216.0
32	伊藤 博次	晩夏(雄物川)	1978(昭和53)	油彩・キャンバス	89.4 × 130.3
33	三村 治男	杉木立(Ⅱ)	1995(平成 7)	紙・木版・額装	37.0 × 56.0
34	三村 治男	秋田港から寒風山を望む	1997(平成 9)	紙・木版・額装	20.0 × 45.0
35	三村 治男	紅葉	1993(平成 5)	紙・木版・額装	37.0 × 56.0

第3展示室：「今こそ、旅しよう」第3章 祈り

No	作家名	作品名	制作年	技法・素材・形状	寸法(縦×横)cm
36	勝平 得之	秋田路	1962(昭和37)	紙・木版・額装	14.2 × 46.0
37	勝平 得之	送り盆(横手)	1940(昭和15)	紙・木版・額装	59.0 × 86.2
38	勝平 得之	ナマハゲ(男鹿)	1940(昭和15)	紙・木版・額装	左40.7×14.5、中40.7×29.7、右40.7×14.5
39	勝平 得之	大日靈貴神社舞楽図八部作・御常楽	1948(昭和23)	紙・木版・額装	39.0 × 69.3
40	勝平 得之	大日靈貴神社舞楽図八部作・権現舞	1948(昭和23)	紙・木版・額装	39.0 × 69.3
41	勝平 得之	大日靈貴神社舞楽図八部作・神子舞	1949(昭和24)	紙・木版・額装	39.0 × 69.3
42	勝平 得之	大日靈貴神社舞楽図八部作・工匠舞	1949(昭和24)	紙・木版・額装	39.0 × 69.3
43	勝平 得之	大日靈貴神社舞楽図八部作・駒舞	1943(昭和18)	紙・木版・二曲一隻	69.3 × 39.0
44	勝平 得之	大日靈貴神社舞楽図八部作・鳥舞	1943(昭和18)	紙・木版・二曲一隻	69.3 × 39.0
45	勝平 得之	大日靈貴神社舞楽図八部作・五大尊舞	1944(昭和19)	紙・木版・二曲一隻	69.3 × 39.0
46	勝平 得之	大日靈貴神社舞楽図八部作・鳥遍舞	1944(昭和19)	紙・木版・二曲一隻	69.3 × 39.0
47	勝平 得之	かまくら	1955(昭和30)	紙・木版・額装	39.5 × 140.0
48	勝平 得之	《秋田民俗絵詞》はながほ	1962(昭和37)	紙・木版・額装	19.5 × 15.1
49	勝平 得之	《秋田民俗絵詞》ながてぬぎ	1962(昭和37)	紙・木版・額装	19.5 × 15.1
50	勝平 得之	《秋田民俗絵詞》アグド・スベ	1962(昭和37)	紙・木版・額装	19.5 × 15.1
51	後藤 純男	秋田駒ヶ岳	1997(平成 9)	紙本着色・額装	90.5 × 205.5
52	峯田 敏郎	記念撮影ー異人館・阿仁一	2004(平成16)	樟/彩色・銅・真鍮	168.0×140.0×95.0
53	奈良 裕功	鹹	1932(昭和 7) 5/29	紙・鉛筆・顔彩	25.7 × 57.5
54	奈良 裕功	懸巢	1929(昭和 4) 11/2	紙・鉛筆	20.9 × 33.0
55	奈良 裕功	山女魚	1935(昭和10) 10/14	紙・鉛筆・顔彩	36.5 × 27.0
56	奈良 裕功	根曲竹	1932(昭和 7) 5/21	紙・鉛筆・顔彩	37.6 × 57.5
57	奈良 裕功	毛馬内風景	1932(昭和 7) 11/24	紙本墨画着色	25.7 × 64.9
58	奈良 裕功	奥入瀬	1942(昭和17)	紙本墨画	39.9 × 51.3

【関連記事】 【新聞・雑誌等】『Mari Mari』11/2

iii. 2018コレクション展

第Ⅲ期 もの・かたる・え

会期：2018(平成30)年11月14日(水)～2019(平成31)年1月27日(日) 【62日間】

担当：奈良 香



第1・2展示室：もの・かたる・え

No	作家名	作品名	制作年	技法・素材・形状	寸法(縦×横)cm
1	内田 慎蔵	枯れ葉一葉	1970(昭和45)	油彩、キャンバス	90.7 × 116.7
2	金子 義償	落葉	1991(平成 3)	油彩、キャンバス	162.1 × 97.0
3	伊藤 弥太	(作品) I	1959(昭和34)	油彩、キャンバス	130.0 × 97.0
4	木村 榮治	帽子と男と狐面と	1978(昭和53)	油彩、キャンバス	162.0 × 130.1
5	加藤 貞子	石の雨が降る	【髹品】 1988(昭和63)	油彩、キャンバス	162.0 × 162.0
6	加藤 貞子	人形衆VI	1979(昭和54)	油彩、キャンバス	182.0 × 227.0
7	紺野 五郎	見送り人席	1980(昭和55)	油彩、キャンバス	162.0 × 130.0
8	紺野 五郎	bye-bye	1981(昭和56)	油彩、キャンバス	162.1 × 130.3
9	佐々木良三	碧空の痕跡	【髹品】 1979(昭和54)	油彩、キャンバス	194.0 × 162.0
10	佐々木良三	限定海域のものたち	【髹品】 1983(昭和58)	油彩、キャンバス	162.0 × 162.0
11	佐々木良三	漂うものたち	【髹品】 1984(昭和59)	油彩、キャンバス	162.0 × 162.0
12	檜尾 直	ある風景 ' 92 I	1992(平成 4)	油彩、キャンバス	116.7 × 116.7
13	檜尾 直	ある風景 ' 92 II	1992(平成 4)	油彩、キャンバス	116.7 × 116.7
14	三浦 明範	朝の祭壇	1989(平成元)	油彩、テンペラ、キャンバス	162.3 × 130.3
15	三浦 明範	消し忘れたランプ	1988(昭和63)	油彩、テンペラ、キャンバス	162.0 × 194.0
16	斎藤 寅彦	蒼園一II	1982(昭和57)	油彩、キャンバス	162.0 × 194.0
17	斎藤 寅彦	紙ふうせん	1991(平成 3)	油彩、キャンバス	227.3 × 162.1
18	斎藤 寅彦	H氏の机	1988(昭和63)	油彩、キャンバス	227.3 × 162.0
19	木島 恭一	冬の木(冬眠から)	1969(昭和44)	油彩、キャンバス	162.2 × 390.9
20	木島 恭一	凍(雪の民話)	1966(昭和41)	油彩、キャンバス	162.0 × 390.9
21	馬場 彬	有限的眺望A	1983(昭和58)	油彩、キャンバス	130.3 × 162.0
22	馬場 彬	作品 ' 65	1965(昭和40)	油彩、キャンバス	130.0 × 162.0
23	高橋 功	コスモス・2	2004(平成16)	油彩、板	54.8 × 51.0
24	高橋 功	コスモス・3	2004(平成16)	油彩、板	54.9 × 51.0

第3展示室：秋田蘭画・日本画セレクション 【重文】：国指定重要文化財、【県有文】：秋田県指定有形文化財

No	作家名	作品名	制作年	技法・素材・形状	寸法(縦×横)cm
25※	小田野直武	芍薬花籠図【秋田蘭画/県有文】	1770年代(安永年間)	絹本着色・軸装	94.5 × 21.0
25※	佐竹 曙山	松に唐鳥図【秋田蘭画/重文/髹品】	—	絹本着色・軸装	173.0 × 58.0
26	平福 百穂	菜圃	1920(大正 9)	絹本裏箔着色・二曲一双	各147.8 × 162.8
27	寺崎 廣業	山谷冬里図	1917(大正 6)	紙本墨画・六曲一双	各151.0 × 352.0
28	福田豊四郎	雪のきた国	1925(大正14)	紙本着色・軸装	71.8 × 120.9
29	桜庭藤二郎	山河	1983(昭和58)	紙本着色・額装	208.8 × 164.3
30	高橋 清見	雪明り	1995(平成 7)	紙本着色・額装	180.0 × 223.0
31	信太 金昌	冬裡宿秋	1982(昭和57)	紙本着色・二曲一隻	162.1 × 227.3

※秋田蘭画は次の期間で展示替えを行った小田野直武《芍薬花籠図》11/14～12/14、佐竹曙山《松に唐鳥図》12/15～H31.1/27

関連記事

【新聞・雑誌等】北鹿新聞12/13、 『市報よこて』 11/15、12/1、12/15、1/1、1/15、 『Mari Mari』 12/7、
『AREAi』 12/29、 『月刊アンドナウ』 11月号、12月号、1月号
【テレビ・ラジオ】FMあきた 11/16

iv. 2018コレクション展

第IV期 春を待つ Waiting for Spring

会期：2019(平成31)年1月30日(水)～4月7日(日) 【68日間】

担当：鈴木 京



第1展示室

No	作家名	作品名	制作年	技法・素材・形状	寸法(縦×横)cm
1	福田豊四郎	樹氷	1937(昭和12)	絹本着色・額装	69.8 × 86.2
2	工藤 甲人	巢	1959(昭和34)	紙本着色・額装	60.5 × 72.5
3	藤田 嗣治	雪国の少女	1936(昭和11)	紙本墨画淡彩・額装	124.6 × 30.8
4	伊藤 博次	冬 C	1960(昭和35)	キャンバス・油彩・額装	145.5 × 97.0
5	千葉 禎介	休日	1947(昭和22)	ゼラチン・シルバー・プリント・額装	25.0 × 30.3
6	佐々木裕久	地の華ー凍結した夜	1972(昭和47)	紙本着色・額装	120.0 × 165.2
7	葛西 康	雪庭(寒日)	1962(昭和37)	キャンバス・油彩・額装	130.0 × 162.0
8	葛西 康	雪讃歌 D	1964(昭和39)	キャンバス・油彩・額装	162.0 × 130.0
9	葛西 康	雪庭讃歌	1972(昭和47)	キャンバス・油彩・額装	162.0 × 130.0
10	福田豊四郎	樹氷	1937(昭和12)	紙本着色・四曲一隻	210.5 × 371.0
11	堀川達三郎	杜	1963(昭和38)	紙本着色・額装	181.8 × 227.3

第2展示室

No	作家名	作品名	制作年	技法・素材・形状	寸法(縦×横)cm
12	平福 百穂	鶯鳥	昭和期	絹本墨画淡彩・軸装	44.5 × 58.5
13	白 雲	臘梅	1819(文政 2)	紙本墨画・軸装	129.0 × 52.0
14	増田 九木	梅	1831(天保 2)	紙本墨画・軸装	159.5 × 95.5
15	長山 孔寅	梅下遊興図	1800年代初期	絹本墨画淡彩・軸装	62.5 × 150.0
16	高橋 萬年	白梅	大正・昭和期	紙本着色・額装	85.5 × 107.0
17	福田豊四郎	梅	1962(昭和37)	紙本着色・額装	161.0 × 95.3
18	河村千代三	春野	1956(昭和31)	キャンバス・油彩・額装	91.0 × 72.8
19	松井 如流	四海春	1987(昭和62)	紙本墨書・額装	136.0 × 68.0
20	桜庭藤二郎	遅春	1976(昭和51)	紙本着色・額装	226.5 × 182.0
21	荘 司 福	季	1995(平成 7)	紙本着色・額装	170.0 × 310.0
22	高橋 清見	花明り	1994(平成 6)	紙本着色・額装	195.0 × 195.0
23	寺崎 廣業	絶峰催春	明治期	絹本墨画・軸装	137.0 × 56.0
24	佐々木 英	蒔絵飾箱「萌春」	1977(昭和52)	桐・彩切貝・研切蒔絵 高蒔絵	16.0×11.0×22.0

第3展示室

No	作家名	作品名	制作年	技法・素材・形状	寸法(縦×横)cm
25※	小田野直武	岩に牡丹図【秋田蘭画】	江戸中期	絹本着色・額装	48.3 × 72.7
26※	佐竹 義躬	岩に牡丹【秋田蘭画】	江戸中期	紙本着色・軸装	108.2 × 29.1
27	小野崎大凌	春秋遊鹿花鳥図	制作年不詳	絹本着色・六曲一双	各131.0 × 301.8
28	平福 穂庵	嵐山	1870(明治 3)	紙本着色・襖六面	各167.6 × 82.1
29	平福 穂庵	墨堤舟遊	1887(明治20)	絹本着色・軸装	127.5 × 55.0
30	寺崎 廣業	春秋図	1905(明治38)	紙本着色・襖八面	各167.0×84.1、167.0×108.0
31	福田豊四郎	雪を描く男	1929(昭和 4)	紙本着色・額装	77.6 × 109.5

※秋田蘭画は次の期間で展示替えを行った小田野直武《岩に牡丹図》1/30～3/4、佐竹義躬《岩に牡丹》3/5～4/7

関連記事 【新聞・雑誌等】北鹿新聞 3/7、『Bouquet』
【テレビ・ラジオ】AKTニュース 3/6

2018コレクション展 展示風景

第Ⅰ期 うけつがれてゆくもの



6階 第1展示室 (前期)



6階 第1展示室 (後期)

第Ⅱ期 今こそ、旅しよう



6階 第1展示室



6階 第3展示室

第Ⅲ期 もの・かたる・え



6階 第1展示室



6階 第3展示室

第Ⅳ期 春を待つ



6階 第1展示室



6階 第2展示室

教育普及事業

誰もが気軽に利用でき、美術への理解を深めることができる親しみやすい美術館を目指して、講演会や美術館教室、美術館講座等を開催している。また、美術館事業の広報活動を行うとともに、ハイビジョンギャラリーでの郷土作家を扱った美術番組等の上映、県内の美術情報や美術館に関する図書資料の提供等、美術情報センターとしての役割を果たす多面的な活動も行っている。

さらに美術館を第二の学校として活用する「あきたセカンドスクール推進事業」において、学校の授業としてカウントできる体験活動を行っている。なお、県内の遠方地域に対しては、来館が困難な地域の学校を会場とした「出前美術館」、県立図書館を会場とした「ネットワーク事業」を実践している。このほか、親子で楽しく過ごせるキッズルームの開設や、団体鑑賞者に対する作品解説、美術館ボランティアによる美術館案内も実施している。



鑑賞の様子『北斎の富士 富嶽三十六景と富嶽百景』
(2018. 4/21～6. 17)

● キンビ・創作体験プログラム

美術館教室

No.	内容	期日	対象・定員	講師	日数	参加者	担当
I	スーパーリアリズムに挑戦 ～極細ペンで猫を描く～	5月12日(土) 5月13日(日)	中学生以上 一般20名	野崎文隆 (ブランディングディレクター)	全2日	21名	高橋 小林
II	パステル画教室	6月 2日(土)	中学生以上 一般12名	鈴木 司 (秋田公立美術大学美術センター教授)	1日	11名	藤井 鈴秀
III	日本画教室「植物を描く」	11月3日(土) 11月4日(日)	中学生以上 一般15名	山田美知男 (画家・日本美術院院友)	全2日	14名	鈴秀 藤井

みんなの教室

No.	内容	期日	対象・定員	講師	日数	参加者	担当
I	「Go!Go! 走るぞ! 木のクルマⅡ」	7月29日(日)	小学生以上 一般15名	高橋輝樹(当館学芸主事)	1日	計27名	高橋 藤井
II	子どものための日本画教室Ⅱ 「岩絵の具で遊ぼう!」	10月21日(日)	小・中学生 15名	樫尾康子(当館副館長)	150分	計22名	小林 鈴秀

きっずあーと

No.	内容	期日	対象・定員	講師	日数	参加者	担当
I	「びしゃびしゃアート」※雨天のため 実習室での「ローラーで遊ぼう」に変更	8月5日(日)	未就学児(4～6歳) 各回30名	鈴木秀一(当館学芸主事)	60分 ×2	計72名	鈴秀 小林
II	「つちねんどでドロンコアート」	9月2日(日)	未就学児(4～6歳) 各回15名	藤井正輝(当館学芸主事)	90分 ×2	計55名	藤井 高橋

※ 悪天候により当初予定していた「びしゃびしゃアート」の内容を変更して実施。

展覧会にちなんだワークショップ

No.	内容	期日	対象・定員	講師	日数	参加者	担当
I	版画・北斎の富士山に挑戦!	5月27日(日)	中学生以上 一般20名	小林紀子(当館学芸主事)	1日	13名	小林 保泉
III	「鴻池朋子 ハンターギャザラー」関連事業 ワークショップ「精霊のパバヌキ」	10月27日(土)	24名	大山功一(ゲームデザイナー) 鴻池朋子(アーティスト)	90分 ×2	24名	鈴木 藤井

美術館教室

I. スーパーリアリズムに挑戦 5/12・13

ブランディングディレクターの野崎文隆氏をお招きし、0.1ミリと0.2ミリの極細ペンで猫をモチーフに細密描写にチャレンジする教室を実施した。はじめに猫の写真をもとに、ケント紙へ鉛筆で薄く全体的な形をトレースし、その後はひたすら極細ペンで猫の表情や毛の流れを忠実に描きリアルな表現を楽しんだ。ペン先の動く音がかすかに聞こえ、教室には細密画に取り組む参加者の集中する様子がみられた。また、野崎氏のわかりやすいアドバイスにより、初心者でも気軽に取組むことができ、プロの作品に少しでも近づきたいという意欲が持続し、完成までの2日間が、あっという間の美術館教室となった。



II. パステル画教室 6/2

秋田公立美術大学教授の鈴木司氏を講師に迎え、パステル画教室を開催した。参加者は各自が持参した人物の写真をもとにパステルや色鉛筆等を用いて人物画を描いた。鈴木先生には、柔らかな描画材料の特徴を生かしながら描くコツや、人物の立体的なとらえ方、影のつけ方、色の重ね方等を丁寧に説明していただいた。また、茶こしやクリアファイルを使った裏技等の紹介もあり、参加者の意欲が一段と高まったように感じた。最後は全員の作品について鈴木先生からご講評いただき、和やかな雰囲気での講座となった。



III. 日本画教室「植物を描こう」 11/3・4

日本画家の山田美知男氏を講師に迎え、日本画独特の画材である岩絵の具や水干絵具を使い、植物画を描く教室を開催した。講師が準備してくださった工程表に従い、参加者が持参したモチーフとなる植物の画像やイラストを下絵として小下図作成、背景下塗り、骨描き等と制作を進めていった。受講者全員が日本画は初めてとのことだったが、洋画など何らかの絵を描いた経験のある人が多く、時間がかかると思われた着色もスムーズに進み、終了予定の1時間前には半分以上の受講者が完成させていた。最後に講師の山田先生から作品の講評をいただいた。



みんなの教室

I. 「Go! Go! 走るぞ! 木のクルマII」 7/29

夏休み中の教室でもあり、参加者は全員小学生とその保護者だった。家族の創作体験としては魅力的な内容で、制作の流れもスムーズだった。合板材と丸棒を材料として車体を組立て、全ての参加者の作品が頑丈な仕上がりになった。また、紙に描いたデザインスケッチが完成に近づくと、細部にまでオリジナル性を強調しようと工夫を凝らす親子もいた。ゴム動力による走行機能も、手作りの風合いと愛着を感じられる要素といえる。一日を通して相談をしながら、完成までの工程を楽しむことができていた。来年度も参加者がオリジナリティー溢れるデザインをもとに、笑顔で創作体験を楽しんでいただけるよう、準備を進めたい。



II. 子どものための日本画教室II「岩絵の具で遊ぼう」 10/21

副館長が講師を務める日本画の材料体験の講座を開催した。初めて日本画の材料に触れる子どもが、時間内に一通りの材料体験ができるよう、アクリル絵具と膠と岩絵具を使って彩色する方法で行った。金や銀の砂子を蒔く活動は特に参加者の関心を集めた。砂子用箔筒やたたき筆を使って砂子を蒔く工程は、保護者も体験した。子どもの「やってみたい」という意欲をかきたて、「自分の手でできた」という体験がたくさん積み重なった講座となった。



きっずあーと

I. 「びしゃびしゃアート」 8/5

雨天のため屋外での活動を中止し、館内の実習室で「ローラーで遊ぼう」を実施した。大きな用紙にローラーを使って自由に描く活動で、自分の思い通りに描く子どもが多い中、こだわりを持って描く子どももいたのが印象的だった。また、後半になってくるとローラーの使い方も上達して様々な描き方を行っていた。最後には大きなローラーアートが完成し、作品の前で記念撮影を行った。



II. 「つちねんどでドロコアート」 9/2

未就学児を対象とし、土粘土の感触を全身で楽しむ活動を実施した。“粉の状態の“さらさら”、水を加えた直後の“どろどろ”、粉と水がなじんだもちもち”など、土粘土の色々な感触を味わっている様子だった。具象物を作る子どもや、3~4人で大きなかたまりを作る子どもたち、水を多めに足しヌルヌルした手触りをひたすら楽しむ子どもたちなど様々だった。家ではなかなか体験できない、ダイナミックなドロコ遊びができてよかったという参加者の声も多くいただいた。



展覧会にちなんだワークショップ

I. 「版画・北斎の富士山に挑戦！」 5/27

気軽に版画を体験し、奥深い版画の世界に親しんでもらう目的でワークショップを開催した。はじめに葛飾北斎の版画「凱風快晴」の下絵を版木へ転写し、次に彫り、そして主版の摺り、2版目の摺りの工程へと進んだ。摺りの工程で、主版と2版目の図柄を重ね合わせ、全体像が見えた瞬間が最も盛り上がった。北斎の版画への理解をいっそう深めていただく機会となった。



II. ワークショップ「精霊のババヌキ」 10/27

ゲームデザイナー・大山功一氏、アーティスト・鴻池朋子氏を講師に、カード「精霊のババヌキ」(ゲームデザイン: 大山功一、キャラクターデザイン: 鴻池朋子)を使ったゲームを楽しんだ。このカードは、展覧会にまつわるモチーフが絵柄になっており、今回独自に製作されたもので、そのルールも独自性に満ちていた。また本ワークショップでは、展覧会に出品されていた《冬カルタ》を使ったゲームも特別に実施。展覧会にちなんだゲームの数々を楽しむことのできる、貴重な機会となった。



● ミュージアムコンサート

I. 「トリオ・ドルチェ コンサート」

(北斎の富士付帯事業 実行委員会主催)

日 時 2018年5月20日(日)
1回目…午後 1時30分～午後 2時10分
2回目…午後 3時00分～午後 3時40分
場 所 秋田県立近代美術館5階中央ホール
出 演 北嶋 奏子〈ヴァイオリン〉
吉田 妃呂子〈フルート・歌〉
佐々木久美子〈ピアノ〉

演奏曲目 1 富士山
2 鞠と殿様
3 お江戸日本橋
4 江戸子守唄
5 七里ヶ浜の哀歌
6 銭形平次より銭形平次
7 大岡越前よりテーマ
8 真田丸よりメインテーマ
9 篤姫よりメインテーマ
10 箱根八里 (アンコール)

観覧者数 252人



II. 「サククス四重奏」

日 時 2018年12月2日(日)
1回目…午前11時00分～午前11時40分
2回目…午後 1時30分～午後 2時10分
場 所 秋田県立近代美術館5階中央ホール
出 演 秋田吹奏楽団サクソフォーンカルテット
河道 麻美子〈ソプラノサククス〉
松橋 由美子〈アルトサククス〉
下 田 緑〈テナーサククス〉
半 田 広 和〈バリトンサククス〉

演奏曲目 1 ジングルベル
2 雪の華
3 名探偵コナン メインテーマ
4 命の奇跡
5 真っ赤な太陽
6 ウィンターワンダーランド
7 ザ クリスマスソング
8 パートオブユアワールド
9 少年時代
10 愛燦燦
11 彼方の光

観覧者数 248人



● 美術館講座・美術講演

美術の鑑賞と理解を深めるため、当館長が美術講座を8回実施した。
詳細は次のとおりである。

◇美術館講座「館長講座」・「雅」の造形—平安時代の美術と文化—

講師：仲町啓子(秋田県立近代美術館長、実践女子大学文学部教授)

会場：秋田県立近代美術館6階研修室

全8回、延べ受講者数265名

- ① 5月19日(土) 「雅」の始まり—9世紀の美術
- ② 6月 9日(土) 国風文化の開花
- ③ 7月14日(土) 極楽往生への願い
- ④ 8月 4日(土) 美しい仏たち
- ⑤ 9月 8日(土) 六道輪廻を描く
- ⑥ 10月20日(土) 絵巻の世界Ⅰ—源氏物語絵巻と鳥獣戯画
- ⑦ 11月10日(土) 絵巻の世界Ⅱ—信貴山縁起絵巻と伴大納言絵巻
- ⑧ 12月 8日(土) 書と工芸の繊細華麗な世界

秋田県立近代美術館
平成30年度

美術館講座のご案内

平安時代の文化、造形に焦点を当て、美しい仏たちや源氏物語絵巻など、当館の仲町館長が画像を使ってわかりやすく解説します。
多くの皆様のご参加をお待ちしております。

講座名
館長講座「雅」の造形—平安時代の美術と文化

講師：仲町啓子(なかもちけいこ)
(秋田県立近代美術館長・実践女子大学文学部教授)

対象：学生、一般

場所：秋田県立近代美術館6階研修室

時間：各回午後1時30分～午後3時

受講料：無料
申し込み：不要(各回直接会場にて受付)



仲町啓子館長

期日・内容

5月19日(土)	「雅」の始まり—9世紀の美術
6月 9日(土)	国風文化の開花
7月14日(土)	極楽往生への願い
8月 4日(土)	美しい仏たち
9月 8日(土)	六道輪廻を描く
10月20日(土)	絵巻の世界Ⅰ—源氏物語絵巻と鳥獣戯画
11月10日(土)	絵巻の世界Ⅱ—信貴山縁起絵巻と伴大納言絵巻
12月 8日(土)	書と工芸の繊細華麗な世界

◆お問い合わせ先
秋田県立近代美術館(秋田らるさと村内)
〒013-0064 秋田県横手市赤坂字富ヶ沢62-46
Tel.0182-33-8805 Fax.0182-33-8808
E-mail:sakuram@macn.ac.jp
担当：保原、鈴木、村田





「館長講座」の様子

◇生涯学習センター秋田ふるさと講座 「よこて芸術・文化探訪」

講師：鈴木 京(秋田県立近代美術館学芸主事)

会場：秋田県立近代美術館6階研修室

9月22日(土)、10:10～11:30、参加者50名

● 出前美術館・出前美術展

平成30年度 秋田県立近代美術館 出前美術館 ―あきたの色と形―

主 催：秋田県立近代美術館
共 催：秋田県造形教育研究会
会 場：秋田県立美術館 1階 県民ギャラリー
会 期：2018(平成30)年7月27日(金)～7月31日(火)
担 当：樫尾康子、保泉 充、小林紀子
作品数：42点 (寄託品1点)
参加者：1,027人

「出前美術館」とは、広く県民の皆様々に近代美術館所蔵の美術作品を鑑賞していただくことを目的として、来館が難しい地域に、近代美術館が出向いて開催する展覧会である。

これまで20校の学校を会場に開催し、約12,000人の方々に展覧会をお楽しみいただいた。

今年度は、平成30年7月27日(金)から31日(火)の5日間、秋田市の秋田県立美術館県民ギャラリーを会場に「出前美術館―あきたの色と形―」を開催した。近代美術館所蔵品(寄託1点含む)から、小田野直武、平福百穂、寺崎廣業ら秋田ゆかりの作家による日本画、油彩画、彫刻、工芸、写真、版画などあわせて42点を展示した。また、所蔵品を代表する秋田蘭画《不忍池図》(国指定重要文化財)《芍薬花籠図》《富嶽図》3作品のレプリカ(複製品)も展示し、じっくりと鑑賞していただいた。

本物の美術作品を活用した授業

7月30日(月)には、出前美術館の会場で、第71回全国造形教育研究大会秋田大会の公開授業が行われた。児童生徒たちは、美術館という空間で、本物の美術作品を鑑賞し、自分が感じた思いを伝え合った。

県民の皆様をはじめ、全国から秋田を訪れた方々にも出前美術館を楽しんでいただき、秋田の文化への理解を深めていただく貴重な機会となった。



会場 | 秋田県立美術館 1階県民ギャラリー (秋田市エリアなかいち内)

平成30年7月27日(金)～31日(火) 10:00～18:00

入場無料

主催 | 秋田県立近代美術館
〒013-0264 秋田県横手市志保字宮ヶ沢42-46(秋田公園までと付内)
TEL:0113-33-8855 FAX:0112-33-8859 E-mail:akitamusem@ac.jp
共催 | 秋田県造形教育研究会



江戸時代から現代作家による作品まで42点を一堂に展示



「どんなお話かな？」横山津恵《湖の譚》を鑑賞



公開授業1(横手市立十文字第一小学校4年)
福田豊四郎の作品《六月の森》を鑑賞し、
思いを伝え合う児童



公開授業2(秋田市立御所野学院中学校2年)
小田野直武の作品《不忍池図》(レプリカ)
を鑑賞し、メモをとる生徒



全国から造形教育に携わる美術教諭らが集合
熱心に授業を参観

「みる」(絵画・版画・書・写真・スケッチ・工芸) さわらないように、みてね!

No.	作家名	作品名	制作年	技法・素材	寸法(縦×横cm)
1	小田野直武	富嶽図 ※レプリカ	—	※絹本着色	43.5 × 77.0
2	小田野直武	不忍池図 ※レプリカ	—	※絹本着色	98.5 × 132.5
3	小田野直武	芍薬花籠図 ※レプリカ	—	※絹本着色	94.5 × 21.5
4	平福 穂庵	軍鶏	1886(明治19)	絹本墨画淡彩	134.8 × 55.7
5	寺崎 廣業	谿間(たにま)の雪	—	絹本墨画、墨/岩絵の具	163.5 × 71.5
6	平福 百穂	嘯斥(しょうこ)	1925(大正14)	絹本墨画淡彩	166.5 × 57.0
7	福田豊四郎	軍鶏	1954(昭和29)	紙本着色	89.5 × 63.7
8	福田豊四郎	六月の森	1936(昭和11)	紙本着色(2曲1隻)	210.3 × 235.0
9	佐々木裕久	幻視断層-R103	1985(昭和60)	紙本着色	162.0 × 227.5
10	横山 津恵	湖の譚(はなし)	1965(昭和40)	紙本着色	227.0 × 181.7
11	高橋 功	自画像	1978(昭和53)	油彩/紙	70.0 × 50.0
12	伊藤 弥太	象潟の初夏	1969(昭和44)	油彩/キャンバス	130.1 × 162.1
13	金沢秀之助	果樹園の秋	1964(昭和39)	油彩/キャンバス	112.1 × 145.5
14	河村千代三	緑雨	1961(昭和36)	油彩/キャンバス	90.7 × 130.3
15	紺野 五郎	いくつかの出会い	1982(昭和57)	油彩/キャンバス	162.1 × 260.6
16	斎藤 寅彦	時の跡〔繋ぐ〕	2007(平成19)	テンペラ・油彩/キャンバス	162.0 × 130.3
17	三浦 明範	斜線の風景	1984(昭和59)	テンペラ・油彩/キャンバス	162.0 × 194.0
18	佐々木良三	北の壁跡	1995(平成7)	油彩/キャンバス	194.0 × 162.0
19	藤井 勉	フリージア	1983(昭和58)	油彩/キャンバス	90.9 × 116.5
20	木村 榮治	漂民	1967(昭和42)	油彩/キャンバス	130.5 × 97.0
21	伊藤 康夫	ARCADIA(鳩を追う)	1992(平成4)	油彩/キャンバス	193.0 × 162.0
22	勝平 得之	米作四題 堆肥運び(冬)	1949(昭和24)	板目木版/紙	40.0 × 131.8
23	勝平 得之	米作四題 耕土(春)	1952(昭和27)	板目木版/紙	39.8 × 135.1
24	勝平 得之	米作四題 田植(夏)	1950(昭和25)	板目木版/紙	39.6 × 133.6
25	勝平 得之	米作四題 刈あげ(秋)	1951(昭和26)	板目木版/紙	40.1 × 134.5
26	松井 如流	究	1974(昭和49)	墨/紙	97.0 × 91.0
27	松井 如流	野	1982(昭和57)	墨/紙	83.0 × 76.0
28	千葉 禎介	雀追い	1943(昭和18)頃	ゼラチン・シルバー・プリント	22.4 × 288.8
29	千葉 禎介	かまくら	1947(昭和22)頃	ゼラチン・シルバー・プリント	25.1 × 30.0
30	千葉 禎介	冬の夜	1949(昭和24)	ゼラチン・シルバー・プリント	30.4 × 25.3
31	千葉 禎介	村の子どもたち	1961(昭和36)頃	ゼラチン・シルバー・プリント	20.4 × 30.9
32	奈良 裕功	トラフズク(虎斑木菟)	1932(昭和7)	紙本墨画着色	33.7 × 24.6
33	奈良 裕功	ヤマメ(山女魚)	1935(昭和10)	鉛筆・顔彩/紙	36.5 × 27.0
34	奈良 裕功	クビキリギス(首蠡斯)	1934(昭和9)	紙本墨画着色	28.2 × 40.1
35	奈良 裕功	シオカラトンボ(塩辛蜻蛉)	1920(大正9)	紙本墨画着色	24.2 × 32.7
36	佐々木 英	蒔絵彩切貝水指「秋の日」	1978(昭和53)	キハダ・銅・鮑貝・蒔絵粉・色漆	径15.5 × 高20.0
37	関谷 四郎	黒銅金彩花瓶	1980(昭和55)	鍛金/鍍金、黒銅	7.0 × 30.0 × 30.0

「さわる」(彫刻) やさしくさわってね!

No.	作家名	作品名	制作年	技法・素材	寸法(縦×横cm)
38	舟越 保武	ANN	1983(昭和58)	ブロンズ	32.0 × 19.0 × 25.0
39	佐藤 忠良	うれ	1959(昭和34)	ブロンズ	23.0 × 18.0 × 27.0
40	遠藤洪平六	こんにゃく石一時の貌	1989(平成元)	大理石/麻/鉄	235.0 × 95.0 × 55.5
41	工藤 健	座る女	1988(昭和63)	ブロンズ	73.0 × 31.0 × 43.0
42	峯田 敏郎	記念撮影-私の住んだ街-	1989(平成元)-1990(平成2)	桂・紅松、彩色	300.0 × 230.0 × 130.0

◇関連記事

【テレビ】AKT秋田テレビ 7/31

【新聞】秋田魁新報 7/28、 『教育あきた9月号』(No.742) p9

能代エナジウムパーク出前美術展 中村征夫写真展「美ら海 きらめく」

会 期：2018(平成30)年7月11日(水)～7月25日(水)【15日間】
 ※7月23日(月)のみ休館
 主 催：東北電力(株)能代エナジウムパーク、秋田県立近代美術館
 会 場：能代エナジウムパーク カルチャーホール
 担 当：鈴木秀一、保泉 充
 入場者数：3,193名

東京湾をはじめ世界中の海を撮り続ける水中写真家
 中村征夫氏の作品からは、海の水の美しさはもちろん、
 そこに息づく生き物たちの命の輝きまでも感じることが
 できる。本展では、カラフルな命に満ちた沖縄の海
 から、クジラやマンタ、愛らしい生きものたちの一瞬
 の輝きを撮影した写真作品38点を紹介した。



No.	作品名	サイズ(縦×横) mm
1	美ら海へようこそ	600×900
2	ハマクマノミ	900×600
3	カクレクマノミ	900×600
4	クマノミの子供	600×900
5	クマノミの子供	900×600
6	ヤシャハゼ	600×900
7	ミドリイシの仲間	600×900
8	ヤイトギンポ	900×600
9	デバスズメダイとミドリイシの仲間	600×900
10	ヨソギとワカヨウジ	900×600
11	万座毛の荒れ狂う海	600×900
12	アントニオ・ガウディ洞窟	900×600
13	ピカチュウ洞窟	900×600
14	スポットライト	600×900
15	キンメモドキ	600×900
16	イロカエルアンコウ	300×450
17	イロカエルアンコウ	300×450
18	コモンサンゴ属の仲間とカンザシヤドカリ	600×900
19	ブロッキの仲間	900×600
20	生きているホシズナとタイヨウノスナ	600×900
21	ヒメジャコガイ	900×600
22	ナンヨウマンタ	700×1000
23	ナンヨウマンタ	600×900
24	コブシメの交接	300×450
25	コブシメの喧嘩	300×450
26	ザトウクジラ	700×1000
27	ザトウクジラ	600×900
28	オジサン	300×450
29	オジサン	300×450
30	トウゴロウイワシの仲間	600×900
31	セダカカワハギの子供	300×450
32	ヨソギ	300×450
33	色、形、個性豊かなサンゴたち	700×1000
34	サンゴの一斉産卵	700×1000
35	ミドリイシ属の一種	700×1000
36	ハタタテハゼ	700×1000
37	スカシテンジクダイ	700×1000
38	ナカモトイロワケハゼ	700×1000

◇関連記事 【テレビ・ラジオ】NHK おはよう秋田 7/12、 【新聞・雑誌等】秋田魁新報 7/18

● ネットワーク推進事業 (共催：秋田県立近代美術館、秋田県立図書館)

ネットワーク事業 「紺野五郎」

会 期：2018(平成30)年9月29日(土)～10月25日(木)【29日間】

※10月3日、10月17日のみ休館

ギャラリートーク：10月6日(土) ①11:00～11:30、②14:00～14:30 (担当：高橋)

展示作品：洋画家・紺野五郎の作品38点、県立図書館

所蔵の関連書籍2点を展示。

担 当：高橋輝樹、奈良 香

入場者数：2,135名



作品 (秋田県立近代美術館所蔵)

No	作家名	作品名	制作年月日	材質・技法	寸法(cm)
1	紺野五郎	浅草 吾妻橋 (スケッチ)	1953(昭和28)	紙・インク・鉛筆	39.4 × 50.9
2	紺野五郎	横浜風景 (スケッチ)	1952(昭和27)	紙・墨	39.4 × 50.9
3	紺野五郎	ハマ (スケッチ)	1952(昭和27)	紙・墨	39.4 × 50.9
4	紺野五郎	小さな帆 (スケッチ)	1977(昭和52)	紙・色鉛筆・水彩	50.9 × 39.4
5	紺野五郎	青い船 (エスキース)	1981(昭和56)	紙・鉛筆・色鉛筆	50.9 × 39.4
6	紺野五郎	女性像 (エスキース)	制作年不詳	紙・鉛筆・色鉛筆	72.7 × 54.5
7	紺野五郎	女性像 (エスキース)	制作年不詳	紙・鉛筆・色鉛筆	72.7 × 54.5
8	紺野五郎	若い女	1965(昭和40)	キャンバス・油彩	176.5 × 141
9	紺野五郎	三裸婦立つ場合 (エスキース)	1963(昭和38)	紙・水彩	54.5 × 72.7
10	紺野五郎	二人の裸婦 (エスキース)	1964(昭和39)	紙・水彩・墨	72.7 × 54.5
11	紺野五郎	いくつかの出会い (エスキース)	1982(昭和57)	紙・鉛筆	54.5 × 72.7
12	紺野五郎	秋田の四季 (エスキース)	1980(昭和55)	紙・水彩	72.7 × 54.5
13	紺野五郎	男鹿のなまはげ (絵本挿絵)	1979(昭和54)	紙・水彩	54.5 × 72.7
14	紺野五郎	秋田の雪まつり (絵本挿絵)	1979(昭和54)	紙・水彩	54.5 × 72.7
15	紺野五郎	bye-bye (エスキース)	1980(昭和55)	紙・色鉛筆・鉛筆	72.7 × 54.5
16	紺野五郎	bye-bye	1981(昭和56)	キャンバス・油彩	165.0 × 133
17	紺野五郎	裸婦 (クロッキー)	1963(昭和38)	紙・水彩	50.9 × 39.4
18	紺野五郎	裸婦 (クロッキー)	1963(昭和38)	紙・水彩	50.9 × 39.4
19	紺野五郎	裸婦 (クロッキー)	1963(昭和38)	紙・水彩	50.9 × 39.4
20	紺野五郎	裸婦 (クロッキー)	1963(昭和38)	紙・水彩	50.9 × 39.4
21	紺野五郎	裸婦 (クロッキー)	1963(昭和38)	紙・水彩	50.9 × 39.4
22	紺野五郎	裸婦 (クロッキー)	1963(昭和38)	紙・水彩	50.9 × 39.4
23	紺野五郎	裸婦 (クロッキー)	1963(昭和38)	紙・水彩	50.9 × 39.4
24	紺野五郎	裸婦 (クロッキー)	1963(昭和38)	紙・水彩	50.9 × 39.4
25	紺野五郎	10:00. A. M. (スケッチ)	1972(昭和47)	紙・鉛筆	45.5 × 60.6
26	紺野五郎	風景 (スケッチ)	1973(昭和48)	紙・水彩	45.5 × 60.6
27	紺野五郎	女性像 (スケッチ)	1972(昭和47)	紙・水彩	320.0 × 407.0
28	紺野五郎	女性像 (スケッチ)	1972(昭和47)	紙・水彩	320.0 × 407.0
29	紺野五郎	風景構成スケッチ	1960(昭和35)	紙・水彩・ペン	407.0 × 320.0
30	紺野五郎	風景構成スケッチ	1960(昭和35)	紙・水彩・ペン	407.0 × 320.0
31	紺野五郎	女性像デッサン	1962(昭和37)	紙・鉛筆	320.0 × 407.0
32	紺野五郎	女性像デッサン	1962(昭和37)	紙・鉛筆	320.0 × 407.0
33	紺野五郎	女性像デッサン	1962(昭和37)	紙・鉛筆	320.0 × 407.0
34	紺野五郎	院内橋 (スケッチ)	1964(昭和39)	紙・鉛筆	273.0 × 352.0
35	紺野五郎	戸賀 (スケッチ)	1968(昭和43)	紙・鉛筆	273.0 × 352.0
36	紺野五郎	男鹿 (スケッチ)	1968(昭和43)	紙・鉛筆	273.0 × 352.0
37	紺野五郎	大潟村 (スケッチ)	1968(昭和43)	紙・鉛筆	273.0 × 352.0
38	紺野五郎	陸中・田野畑 (スケッチ)	1968(昭和43)	紙・鉛筆	273.0 × 352.0

資料 (秋田県立図書館所蔵)

No	書名	出版年	著者	出版者
1	描かれた秋田展図録	2007(平成19)	秋田県立近代美術館	秋田県立近代美術館
2	紺野五郎回顧展図録	1999(平成11)	秋田県総合生活文化会館	秋田県総合生活文化会館

◇関連記事 【新聞・雑誌等】 秋田魁新報 10/6

● ふれんどりーギャラリー

野崎文隆氏「スーパーリアリズムの世界」

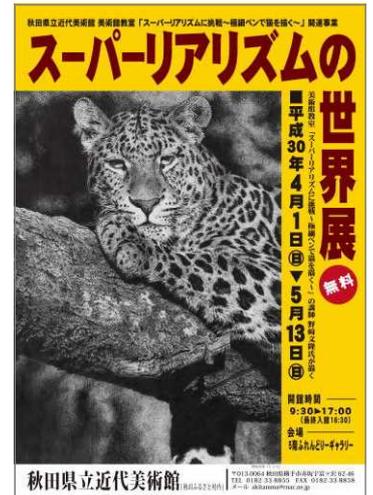
美術館教室「スーパーリアリズムに挑戦」講師・野崎文隆氏の作品を展示。

会 期：2018(平成30)年4月1日(日)～5月13日(日) 【43日間】

担 当：高橋輝樹、小林紀子

展示作品：

No	作品名	素材	寸法(cm)等
1	片思い	ペン/紙	額装済
2	豪太	ペン/紙	額装済
3	お気に入りの場所	ペン/紙	額装済
4	午後のひととき	ペン/紙	額装済
5	戦闘態勢!	ペン/紙	額装済
6	ニューカレドニアカラス	ペン/紙	額装済
7	ドーベルマン	ペン/紙	額装済
8	親子	ペン/紙	38.5 × 27.0
9	ねむいニャー	ペン/紙	30.0 × 21.0
10	クマゲラ	ペン/紙	14.0 × 37.0
11	四十雀(シジュウカラ)	鉛筆/紙	27.0 × 19.0
12	クワガタ	鉛筆/紙	23.5 × 16.0
13	カマキリ	鉛筆・色鉛筆/紙	34.0 × 27.0
14	フンコロガシ	ペン/紙	29.5 × 21.0
15	ワオキツネザル	鉛筆・色鉛筆/紙	27.0 × 19.0
16	ぶん ぶん ぶん	ペン/紙	額装済
17	ヒョウ	ペン/紙	41.0 × 29.5
18	昭和10年頃の横手の町並み	鉛筆/紙	21.0 × 29.5
19	西部の開拓時代Ⅰ	鉛筆/紙	29.5 × 21.0
20	西部の開拓時代Ⅱ	ペン/紙	29.5 × 21.0
21	キイチゴ	鉛筆/紙	21.0 × 29.5
22	俳人・成田千空	鉛筆/紙	額装済
23	大森山動物園パンフレット2枚 (イラスト部分:野崎氏が制作)		21.0 × 10.0
24	大森山動物園ポスター		43.5 × 30.5



「スーパーリアリズムの世界」展示風景

鈴木 司氏「パステル画の世界」

美術館教室「パステル画教室」講師・鈴木司氏のパステル画作品を展示。

会 期：2018(平成30)年5月19日(土)～7月1日(日) 【44日間】

担 当：藤井正輝、鈴木秀一

展示作品：

No	作品名	素材	寸法(cm)等
1	おやすみね	パステル・色鉛筆	72.5 × 51.0
2	桜の頃に	パステル・色鉛筆	51.0 × 72.5
3	水を聴いて	パステル・色鉛筆	72.5 × 51.0
4	新緑の頃に	パステル・色鉛筆	72.5 × 51.0
5	時を待つ	パステル・色鉛筆	72.5 × 51.0
6	冬の訪れと	パステル・色鉛筆	51.0 × 72.5
7	初夏の光を	パステル・色鉛筆	72.5 × 51.0
8	みつめる先に	パステル・色鉛筆	72.5 × 51.0
9	白が聞こえた	パステル・色鉛筆	72.5 × 51.0
10	朝の声が	パステル・色鉛筆	72.5 × 51.0
11	向き合う時に	パステル・色鉛筆	72.5 × 51.0
12	春をささやく	パステル・色鉛筆	39.0 × 54.0
13	声援の後で	パステル・色鉛筆	54.0 × 39.0
14	冬の朝には	パステル・色鉛筆	54.0 × 39.0
15	音を見て	パステル・色鉛筆	54.0 × 39.0
16	先輩と	パステル・色鉛筆	39.0 × 54.0
17	遠くに聞こえた	パステル・色鉛筆	54.0 × 39.0
18	制服の日に	パステル・色鉛筆	52.0 × 37.0
19	コートの子供に	パステル・色鉛筆	54.0 × 39.0
20	林の向こうに	パステル・色鉛筆	54.0 × 39.0
21	見つめる	パステル・色鉛筆	54.0 × 39.0



「パステル画の世界」展示風景

“ふれんどりーギャラリー”を活用した学校による展示事業

子どもたちの活躍の場として、多様な鑑賞体験の場として、美術教育の取組を交流する場として、美術館に子どもたちの作品などを展示する事業である。

※ 2018年度は、利用希望校なし

● 美術館のセカンドスクールの利用

◇ 概況

	セカンドスクールの利用（教育課程内）											総利用校数	総利用人数		
	幼・保育園		小学校		中学校		特別支援学校		高等学校		その他*				
	園数	(人数)	校数	(人数)	校数	(人数)	校数	(人数)	校数	(人数)	校数	(人数)	団体数	(人数)	
4月	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	1	(24)	1	24	
5月	0	(0)	15	(516)	4	(22)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	19	538	
6月	1	(24)	9	(373)	0	(0)	1	(16)	0	(0)	0	(0)	11	413	
7月	0	(0)	20	(755)	5	(252)	0	(0)	0	(0)	8	(259)	33	1,266	
8月	3	(86)	7	(238)	9	(30)	4	(89)	4	(14)	1	(21)	28	478	
9月	0	(0)	6	(224)	1	(51)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	7	275	
10月	0	(0)	8	(253)	1	(3)	0	(0)	1	(43)	1	(13)	11	312	
11月	0	(0)	7	(375)	0	(0)	0	(0)	1	(8)	1	(31)	9	414	
12月	0	(0)	5	(200)	0	(0)	1	(15)	0	(0)	0	(0)	6	215	
1月	0	(0)	1	(29)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	1	29	
2月	0	(0)	2	(41)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	2	41	
3月	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	0	
小計	4園	110人	80校	3,004人	20校	358人	6校	120人	6校	65人					
合計	116校 3,657人											12団体	348人	128校・団体	4,005人

*私立、公立、市立高等学校、特学交流会など

※参考

平成29年度	112校	3,746人
平成28年度	119校	3,134人
平成27年度	147校	5,279人
平成26年度	123校	3,620人
平成25年度	102校	4,097人

◇ 平成30年度 セカンドスクールの利用校一覧

認定こども園こひつじ	清水小学校	横手南小学校	湯沢南中学校	稲川支援学校
第2ルンビニ園	豊川小学校	朝倉小学校	山田中学校	花巻清風支援学校(花巻市)
かえで保育園(大崎市)	豊岡小学校	旭小学校	湯沢東小学校	増田高等学校
男鹿北中学校	中仙小学校	横手北小学校	湯沢西小学校	湯沢翔北高等学校
上小阿仁小学校	協和小学校	増田小学校	山田小学校	横手高校(定時制)
勝平小学校・勝平中学校千秋分校	太田東小学校	醍醐小学校	須川小学校	宮城野高校(仙台市)
御所野学院中学校	太田北小学校	雄物川小学校	稲庭小学校	秋田立美術大学附属高等学院
西目小学校	南外小学校	大森小学校	三梨小学校	フレッシュ広場
鳥海小学校	高梨小学校	十文字第一小学校	川連小学校	南かがやき教室
東大曲小学校	横堀小学校	十文字第二小学校	駒形小学校	西かがやき教室
花館小学校	大曲西中学校	植田小学校	雄勝小学校	リフレッシュ教室
内小友小学校	西仙北中学校	睦合小学校	皆瀬小学校	
大川西根小学校	角館小学校	山内小学校	西馬音内小学校	
四ツ屋小学校	白岩小学校	大雄小学校	三輪小学校	
角間川小学校	西明寺小学校	横手北中学校	羽後明成小学校	
神岡小学校	榎木内小学校	横手南中学校	東成瀬小学校	
西仙北小学校	仙南小学校	横手明峰中学校	横手支援学校	

◇ 平成30年度 教育課程外での利用

中学校6校157人、高等学校1校9人、特別支援学校1校11人、短大等1校38人、市町村子ども会7団体177人
教職員研修2団体39人 【計18校・団体、431人】

◇ 利用の位置付け（教科等）

図画工作科、美術科、生活科、社会科、芸術等の各教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動

◇ 内容

- ・鑑賞体験…「展覧会の見どころ(特別展)」「トークで鑑賞(コレクション展)」「美術館探検」「彫刻探検」
- ・制作体験…「大画面に描こう」「こなからつちねんどをつくろう」「版画を楽しもう」「いろいろな画材で楽しもう」「墨と顔彩で描こう」、その他、特別展と関連した制作等
- ・探究・職業体験…「ふるさと秋田の作家や作品について調べよう」「美術館の仕事を体験しよう」等

◇ キンビ・アートカード 利用数

小学校3校、中学校1校、特別支援学校1校 計5団体(50セット)

● 博物館実習

期間：2018(平成30)年8月26日(日)～8月31日(金) 6日間

実習生所属大学及び人数：秋田公立美術大学1名、女子美術大学大学院1名、東海大学1名、東北芸術工科大学1名、盛岡大学1名

実習内容

期日	内容
8月26日(日)	オリエンテーション(実習のねらい、日程説明、館の概要説明)、施設見学、展示実習(展示ができるまでの流れ、ラベル作成など)、作品解説準備(作品選定)
8月27日(月)	収蔵品実習①(作品撮影)、当館の教育普及事業(鑑賞活動)講座・演習、受付・監視業務補助
8月28日(火)	作品調査(採寸、リスト化、調書作成)、受付・監視業務
8月29日(水)	セカンドスクール対応(鈴木内小学校2・3年生 14名)、収蔵品実習②(作品の取り扱いと保存・修復に関する実習)
8月30日(木)	展示準備(鴻池展)、作品調査(採寸、リスト化、調書作成)、作品解説作成
8月31日(金)	美術館の広報活動に関する実習、実習のふりかえり

● 美術館ボランティア AMC (アムック: Akita Museum Cooperator)

秋田県立近代美術館におけるボランティア活動は、生涯学習振興の考えに基づいて導入された。美術館でのボランティア活動を通して、会員が美術に対する愛好心と知識を深めるとともに、県民と美術館の架け橋として主体的に活動することを目指している。

活動は、1カ月に1日(又は半日を2回)程度の活動日を各個人が定め、1年間継続することを原則としている。活動内容は、展示室活動、案内活動、事務補助活動、配布活動、野外彫刻清掃活動、イベント活動、自己研修などの他、会員への毎月の会報作成や、交流会、他美術館等における研修なども行っている。新会員については、事前に館職員とAMC役員によるオリエンテーションを行うなどして活動をサポートしている。



1 会員数 54名 (2019年3月1日現在)

2 活動内容

① 展示室活動・案内活動

- i 館内案内、誘導(館内各施設、順路ほか)・身障者、老人、子供対応・団体の整理、誘導
- ii 美術館での鑑賞マナーの普及活動
- iii 資料配付(リーフレット、作品解説チラシほか)
- iv 質問対応(展示資料、美術館の概要、観光、道路、交通機関など)

② 事務補助活動

- i 印刷物発送準備作業(ポスター、チラシ、美術館ニュースほか)
- ii 図書・新聞等の資料整理

③ 自己研修

- i ハイビジョン鑑賞(番組、データベース)
- ii 館蔵作品の調査研究等(図書資料室)
- iii 鑑賞学習会(ギャラリートーク、ワークショップ等への参加)

④ その他の活動

- i ふるさと村内でのPR活動(展覧会・付帯事業)
- ii ミュージアムコンサート等の手伝い
- iii 講演会準備の手伝い
- iv 野外彫刻の清掃
- v 印刷物(AMC通信など)の作成・発行

◆ おもな関連行事

- ① 鑑賞学習会(特別展4本、企画展1本、コレクション展4本で各1～2回)
- ② 役員会(13回)
- ③ 講演会・美術館講座・コンサートへの参加
- ④ 交流会(1/6)
- ⑤ 研修旅行(9/22 秋田公立美術大学祭、新屋ガラス工房)
- ⑥ 新会員オリエンテーション(随時)
- ⑦ 総会(2019. 3/3)

収集事業

収集方針

- ①秋田蘭画・初期洋風画作品や資料
- ②近代以降の本県出身及びゆかりの作家の作品や資料
- ③日本の美術思潮を学ぶことのできる作品や資料
- ④当館の収集作品としてふさわしい内外の作品や資料

● 美術品収集

美術品等収集状況(平成30年度末まで) ※平成30年度末に「素描・下絵等」登録数の訂正を行った。

種別	県美術品取得基金	優秀美術作品収集事業	寄贈	他施設から所管換	合計
秋田蘭画	6	0	1	5	12
東洋画	0	0	1	1	2
日本画	221	31	212	184	648
洋画	51	147	197	79	474
版画	11	60	285	67	423
水彩画	0	1	9	0	10
彫刻	121	12	76	6	215
工芸	29	0	10	1	40
デザイン書	0	0	16	6	22
写真	13	7	216	2	238
素描・下絵等	3	0	219	0	222
国内その他資料	20	0	204	11	235
外国版画	5	0	133	5	143
外国彫刻	0	0	0	2	2
外国映像資料等	7	0	0	1	8
合計	1	0	2	0	3
合計	488	258	1,581	370	2,697

2018(平成30)年度収集

種別	県美術品取得基金	優秀美術作品収集事業	寄贈	他施設から所管換	合計
日本画			2	1	3
洋画			0	4	4
彫刻			8	2	10
書			3	0	3
素描・下絵等			0	1	2
国内その他資料			2	0	2
合計			15	8	23

寄贈による収集

No	種別	作者名	作品名	制作年	技法・素材	寸法(cm)
1	日本画	寺崎 廣業	富嶽海辺図	1899(明治32)	紙本着色 6曲1双	各153.7×341.8
2	日本画	福田豊四郎	梅雨若葉	不詳	絹本着色 軸装	131.0×42.0
3	彫刻	ドラゴ・マリ・フェリーナ	エスキース	不詳	ブロンズ	H18.0×W11.0×D8.0
4	彫刻	工藤 健	男と女	1971(昭和46)	ブロンズ	H133.0×W90.0×D42.0
5	彫刻	工藤 健	残影(中)	1973(昭和48)	ブロンズ	H87.0×W75.0×D30.0
6	彫刻	工藤 健	つまびくマンドーラ(小)	1991(平成3)	ブロンズ	H21.0×W20.0×D18.0
7	彫刻	工藤 健	埋もれた人体(円柱)	1973(昭和48)	ブロンズ	H53.0×W20.0×D10.0
8	彫刻	工藤 健	春の顔	1984(昭和59)	ブロンズ	H28.0×W26.0×D25.0
9	彫刻	日高 頼子	海辺	1983(昭和58)	ブロンズ	H25.0×W42.0×D20.0
10	彫刻	日高 頼子	渚の音	1977(昭和52)	ブロンズ	H17.0×W26.0×D10.0
11	書	赤星 藍城	行書 桃李園序	1926(大正15)	紙本墨書 6曲1隻	各137.0×33.0
12	書	比田井天来	和南堂	1934(昭和9)	紙本墨書 額装	51.0×163.0
13	書	比田井天来	書道研究 斗南会	1934(昭和9)	墨、板	88.0×18.7
14	国内その他資料	紺野 五郎	作品ポジフィルム(86点)			
15	国内その他資料	紺野 五郎	作品プリント(92点)			

他施設より所管換

No	種別	作者名	作品名	制作年	技法・素材	寸法(cm)
1	日本画	岩崎 鐸	天国からの見返り	1950(昭和25)	紙本着色 額装	103.0×135.0
2	洋画	樫尾 直	向かう	1988(昭和63)	油彩、キャンバス	130.3×194.0
3	洋画	紺野 五郎	森の中	1993(平成 5)	油彩、キャンバス	162.0×130.3
4	洋画	伊藤 康夫	ARCADIA (鯉のぼり)	不詳	油彩、キャンバス	194.0×162.0
5	洋画	小林喜代吉	奥入瀬溪流	不詳	油彩、キャンバス	60.6×72.7
6	彫刻	阿部 米蔵	いこい	1950年代	石膏	55.0×160.0×56.0
7	彫刻	若狭 三郎	乙女の像	不詳	木	139.0×35.0×30.0
8	素描・下絵	岩崎 鐸	スペイン風物(2)	不詳	ペン・パステル、紙	33.0×42.0

● 図書資料

※平成30年度新収図書登録期間（平成30年3/16～平成31年3/15）

分類	平成30年度新収図書	分類別合計
一般図書	美術総記	13 1,803
	日本美術	22 2,877
	西洋美術	2 691
	東洋、その他の美術	0 153
	秋田資料	11 592
	関係諸学	8 947
所蔵品図録、研究報告、年報	237 5,559	
展覧会図録	252 8,882	
美術雑誌他	60 7,373	
計	605 28,877	

美術品保存

● 美術品保存・修復

実施期日：2018(平成30)年11月24日(土)

No	作家名	作品名	修復内容
1	平福 百穂	春山	緒を通すカンに擦れて傷んだ掛緒と巻緒を新調した。

実施期日：2019(平成31)年1月24日(木)

No	作家名	作品名	修復内容
2	寺崎 廣業	春秋図	外れた襖の引き手を元に戻した。
3	寺崎 廣業	淵明撫松	傷んできた掛緒、巻尾を新調し、割れた外箱の蓋を貼り付けた。
4	寺崎 廣業	白馬雪景	外れた軸先を元に戻した。



修復作業の様子



《春秋図》修復前



修復後



《白馬雪景》修復前



修復後

● 重要文化財等指定

国指定重要文化財

No.	指定年月日	名称	備考
1619	昭和43. 4. 25	絹本著色不忍池図(小田野直武筆) 1面	
1971	平成11. 6. 7	絹本著色唐太宗花鳥図(小田野直武筆) 3幅	

秋田県指定有形文化財

No.	指定年月日	名称	備考
9	昭和32. 4. 4	絹本著色芍薬花籠図(小田野直武筆) 1幅	
17	昭和53. 2. 14	小田野直武筆写生帖 1冊	
19	昭和57. 1. 12	鶴之図(沈南蘋筆) 2幅対	
21	平成16. 3. 19	紙本着色ファン・ロイエン筆 花鳥図模写 1幅	
22	平成17. 3. 22	平福穂庵 乳虎 1幅	
23	平成20. 3. 21	寺崎廣業筆 高山清秋 6曲1双	
24	平成20. 3. 21	平福百穂筆 春山 1幅	
25	平成23. 3. 22	小田野直武筆 富嶽図 1幅	
6	平成28. 3. 25	白雲筆 奥州街道並羽州街道風景図 1帙2帖	

燻蒸

実施期日：2019(平成31)年1月17日(木)～1月22日(火) 【6日間】

燻蒸場所：5階展示室 総容積 4,596.0m³

実施業者：東化研株式会社

※ 燻蒸容積：2階収蔵庫 (2室) 1,281.8m³
 3階収蔵庫 (3室) 2,091.0m³
 5階展示室 (4室) 4,596.0m³
 6階展示室 (3室) 2,890.8m³
 地下1階一時保管庫 217.1m³

収蔵庫及び一時保管庫に保管している美術品及び関係資料をカビ・害虫から守るため、平成30年度は燻蒸を東化研株式会社に委託し上記6日間にわたり、実施した。酸化エチレン (C₂H₄O) と代替フロン (HFHC134a) の混合剤(商品名エキヒュームS)を気化器によりガス化投薬し、内部濃度を基準有効濃度200g/m³の基準として48時間密閉燻蒸を行った。ガス濃度測定は、ガスが均一化するまでは1時間毎に、ガスが均一化した後は2時間毎に行った。燻蒸期間中は、安全確保の措置を取る。ガス解放は強制ファン等を使用し、速やかに行った。供試虫、供試菌による燻蒸効果判定は(財)文化財虫菌害研究所で行い、2月に良好と認め、合格と判定した。

美術品の貸し出し

No	作家名	作品名	貸出先	貸出期間	展覧会名
1	桜庭藤二郎	山河 ほか20点	平野政吉美術財団	2018/4/5-7/18	「夜と美術」
2	勝平 得之	1. 《秋田風俗十態》鹿島流し 2. 《花売風俗十二題》あやめ(6月)	副知事室	2018/5/30-7/26	副知事室貸出
3	藤田 嗣治	1. 黙示録の四騎士 2. 黙示録 七人のラッパ手	東京都美術館 京都国立近代美術館 朝日新聞社	2018/7/11 -2019/2/31	「没後50年 —藤田嗣治展」
4	勝平 得之	1. 《秋田風俗十態》竿燈 2. 《花売風俗十二題》はず(8月)	副知事室	2018/7/27-9/24	副知事室貸出
5	福田豊四郎	雪の一日	笠岡市立竹喬美術館 和歌山県立近代美術館 新潟県立万代島美術館	2018/8/31 -2019/2/22	「創立100周年記念 国画創作協会の全貌展」
6	平福 穂庵	乞食図 ほか15点	平福記念美術館	2018/9/20-11/30	「開館30年記念 平福穂庵・百穂父子展」
7	勝平 得之	1. 《秋田風俗十題》リンゴ 2. 《秋田風俗十題》はり	副知事室	2018/7/27-9/24	副知事室貸出
8	相原求一朗	三輪車のある風景	川越市美術館	2018/11/13 -2019/7/31	「生誕100年没後20年 相原求一朗の軌跡 —大地への挑戦—」
9	勝平 得之	1. 《花売風俗十二題》かんばな(12月) 2. 《花売風俗十二題》ねこ柳(1月)	副知事室	2018/11/22 -2019/2/5	副知事室貸出
10	福田豊四郎 福田豊四郎 草薙 隆 平福 百穂	1. 野火・けもの 2. 氷原 3. 牛B 4. 獣戯図	秋田市立千秋美術館	2018/12/1 -2019/3/29	「どうぶつ美術館」
11	勝平 得之	1. 《秋田風俗十題》いろり 2. 《秋田風俗十題》かまど	副知事室	2019/2/6 -2019/3/25	副知事室貸出
12	勝平 得之	1. 《千秋公園八景》招魂社 2. 《千秋公園八景》二ノ丸の初夏	副知事室	2019/3/26 -(貸出中)	副知事室貸出

調査・研究業績

仲町啓子

講座 美術館講座「館長講座」 「雅」の造形—平安時代の美術と文化— 秋田県立近代美術館、2018年5月～12月まで8回

保泉 充

講座 県庁出前講座「あきたの美術—所蔵品に見る秋田蘭画から近代まで—」 長楽寺、2019年3月21日

鈴木秀一

実技講座 きっずあーと「びしゃびしゃアート」 2018年8月5日

藤井正輝

実技講座 きっずあーと「つちねんどでドロンコアート」 2018年9月2日

作品解説 「ギャラリートーク 横山津恵展」『秋田魁新報』 2018年12月19日

奈良 香

講座 県庁出前講座「あきたの美術～近美所蔵品に見る能代・山本の画家」 能代市中央公民館、2018年10月13日

講座 県庁出前講座「あきたの美術」 湯沢グランドホテル、2019年1月11日

論考 「橘小夢の作品と伝記に関する総合的調査」『鹿島美術研究(年報第35号別冊)』 公益財団法人鹿島美術財団、2018年、pp. 351—362

論考 「三輪村の一章さん～画人・柿崎一章に関する調査～」『秋田美術No. 54・55合併号』(紀要)秋田県立近代美術館、2019年、pp. 4—11

作品解説 アート探訪「コレミテッ! 斎藤寅彦《紙ふうせん》」『Mari Mari』 2018年11月26日

図録作成 『橘小夢作品集』2018年(非売品/鹿島美術財団からの「美術に関する調査研究の助成」により作成)

高橋輝樹

実技講座 みんなの教室「Go! Go! 走るぞ! 木のクルマII」 2018年7月29日

作品解説 ネットワーク事業「紺野五郎」ギャラリートーク 秋田県立図書館、2018年10月6日

小林紀子

実技講座 版画 北斎の富士山に挑戦! 2018年5月27日

発表 平成30年度北海道・北東北美術教育研究会「美術館を活用した美術館教育に関する実践」
北海道立近代美術館 2018年8月29日、30日

資料作成 教育普及プログラムについて「教育美術」No.913 2018年7月1日

資料作成 秋田県立美術館および秋田近代美術館における美術館と学校とが連携した鑑賞教育について
(7月の出前美術館で紹介) 2018年7月26日～7月31日 県立美術館県民ギャラリー

実技講座 きっずあーと「びしゃびしゃアート」 2017年8月20日

作品解説 アート探訪「コレミテッ! 福田豊四郎《山の秋》」『Mari Mari』 2018年11月2日

鈴木 京

作品解説 「夜と美術」ギャラリートーク 秋田県立美術館展示室、2018年5月19日

講座 生涯学習センター秋田ふるさと講座「よこて芸術・文化探訪」 秋田県立近代美術館研修室、
2018年9月22日

講座 県庁出前講座「あきたの美術3 能代・山本ゆかりの作家を中心に」 能代市立図書館、
2019年2月17日(日)

作品解説 「ギャラリーとーく 鴻池朋子 ハンターギャザラー」『秋田魁新報』10月15日

報告書 「平福穂庵の研究」『鹿島美術研究(年報第35号別冊)』鹿島美術財団、2018年11月、pp. 274—283

資料作成 「太田和夫氏による平福穂庵書簡翻刻の掲載にあたって」および補註『秋田美術No. 54・55合併号』、2019年3月、pp. 46—30

阿部範一

(秋田県立近代美術館長期研修員)

資料作成 「2018年県内美術展開催一覧(1～12月)」『秋田美術No. 54・55合併号』 秋田県立近代美術館

太田和夫

(元 秋田県立近代美術館副館長)

論考 「平福穂庵書簡について」『秋田美術No. 54・55合併号』2019年3月、pp. 45—30

◆2017年度 秋田県立近代美術館年報 2018年6月発行 A4判 68頁

◆秋田県立近代美術館ニュース『ARK』No. 75 2018年5月30日発行 A4判 4頁

展覧会レポート： Ippin! 逸品 明治工芸の至宝展
 生誕100年 千葉禎介写真展
 出前美術館 in MOJA (ミュージアム・オブ・神代アート)
 2017コレクション展 第3期「生誕140年 平福百穂」
 トピックス： リニューアルオープン記念、北斎展開催！
 ： セカンドスクールの利用一覧
 インフォメーション： 2018年度・上半期の美術館事業

◆秋田県立近代美術館ニュース『ARK』No. 76 2018年9月30日発行 A4判 4頁

展覧会レポート： 秋田県立近代美術館リニューアルオープン記念 北斎の富士 富嶽三十六景と富嶽百景
 チームラボ 踊る!アート展と、学ぶ!未来の遊園地
 2018コレクション展 第1期・リニューアルオープン記念 うけつがれてゆくもの
 出前美術館 ーあきたの色と形ー
 能代エナジウムパーク出前美術展 中村征夫写真展「美ら海 きらめく」
 トピックス： 鴻池朋子 ハンターギャザラー
 ： 2018コレクション展 第2期 今こそ、旅しようー所蔵品でたどるすばらしき秋田ー
 インフォメーション： 2018年度・下半期の美術館事業

◆秋田県立近代美術館ニュース『ARK』No. 77 2019年3月31日発行 A4判 4頁

展覧会レポート： 鴻池朋子 ハンターギャザラー
 横山津恵展
 2018コレクション展 第2期 今こそ、旅しようー所蔵品でたどるすばらしき秋田ー
 2018コレクション展 第3期 もの・かたる・え
 2018コレクション展 第4期 春を待つ Waiting for Spring
 2018年度ネットワーク事業 紺野五郎
 トピックス： 美術館の眼VIII
 ： セカンドスクールの利用一覧
 インフォメーション： 2019年度・上半期の美術館事業

※ 秋田県立近代美術館ニュース『ARK(アーク)』

秋田県立近代美術館では、展覧会の概要やさまざまな美術館活動などの広報を目的とし、美術館ニュース「ARK」を年2回発行している。
 (平成20年度よりデザインを親しみやすいものに改変した)「ARK」とは、ラテン語で「箱」を意味する言葉で、『聖書』
 では、ノアが大洪水から逃れた箱船のことをさす。当館の外観が“空中に浮遊する巨大な箱船”に見えることから命名された。

◆秋田美術 No. 54・55合併号 2019年3月20日発行 A4 46頁

【随想】 秋田の蒔、北斎、アール・ヌーヴォー	仲町啓子 (秋田県立近代美術館 館長)
三輪村の一章さん ー画人・柿崎一章に関する調査ー	奈良 香 (秋田県立近代美術館 学芸主事)
2017年県内美術展開催一覧	高橋英憲 (秋田県立近代美術館 H29長期研修員)
2018年県内美術展開催一覧	阿部範一 (秋田県立近代美術館 H30長期研修員)
平福穂庵書簡について	太田和夫 (元 秋田県立近代美術館 副館長)
太田和夫氏による平福穂庵書簡翻刻の掲載にあたって	鈴木 京 (秋田県立近代美術館 学芸主事)

※ 秋田美術

秋田県の美術や美術教育、そして展覧会等に関する調査・研究活動の成果を論文として集約するとともに、秋田県内の美術界の動きを総括し、県内美術館、ギャラリー等の展覧会開催状況をまとめている。

◆2019年度行事案内リーフレット(年間スケジュール) 2019年2月発行 A4 2頁

◆2019年度「キンビ・創作体験プログラム」カレンダー 2019年2月発行 A4 1頁

入館状況

平成30年度 月別入館者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
入館者数(人)	5,062	12,150	10,749	30,738	54,953	11,929	6,415	5,121	2,109	1,504	2,090	2,891	145,711

利用者数一覧表

事業別 区分	合計	特別展入場者					企画展入場者		その他 ※(2)	
		北斎の富士展	チームラボ展	鴻池朋子展	横山津恵展	計	美術館の眼Ⅷ	計		
開催期間	4/1(日)～ 3/31(日)	4/21(土)～ 6/17(日)	6/30(土)～ 9/2(日)	9/15(土)～ 11/25(日)	12/1(土)～ 2/11(月)		2/16(土)～ 4/21(日)			
日数(日)※(1)	352	58	65	72	60	255	44	44	53	
利用者数(人)	145,711	19,290	81,045	5,885	2,220	108,440	3,845	3,845	33,414	
一日平均(人)	414	333	1,247	82	37		87			
有 料	個 人	一般・学生	15,629	70,189	3,796	968	90,582	-	0	0
		シルバー	-	-	-	259	259	-	0	0
		身障 一般・学生	649	1,568	128	-	2,345	-	0	0
	団 体	一般・学生	109	459	64	15	647	-	0	0
		合計	16,387	72,216	3,988	1,242	93,833	0	0	0

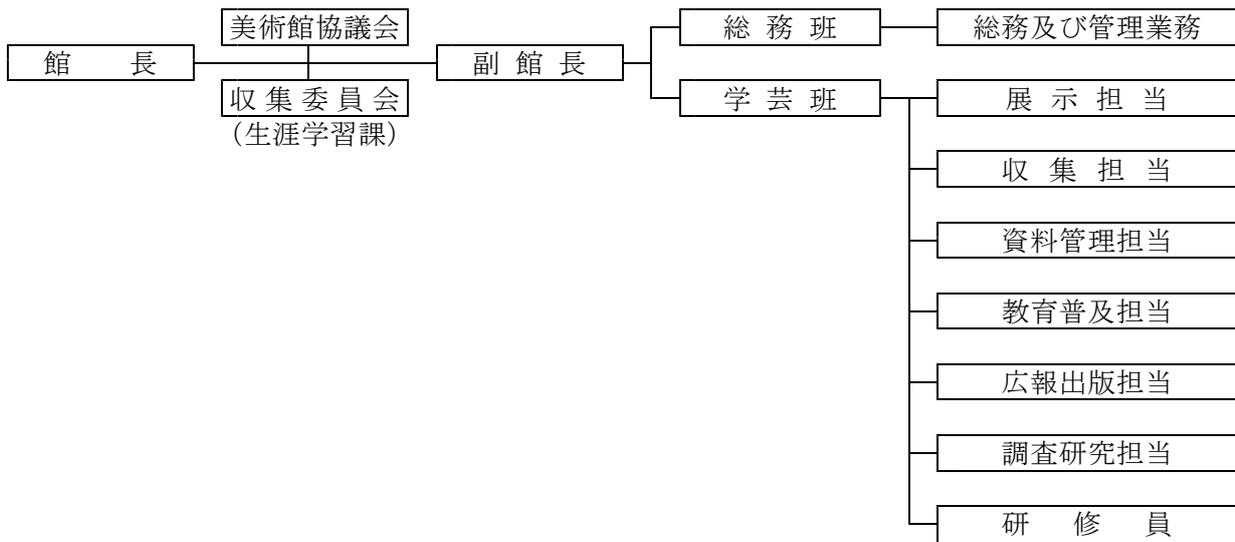
※(1) 日数は、年末休館(平成30年12月29日～31日)及びメンテナンス休館(平成31年1月15日～24日)を除く。

※(2) その他利用者数の内訳は、次のとおり

- ・特別展期間中の入館者：21,895人
- ・ネットワーク事業(県立図書館)：2,152人
- ・出前美術館(県立美術館)：1,027人
- ・出前美術展(能代エナジウムパーク)：3,139人
- ・常設展(5F展示替期間)：5,009人
- ・出前講座等(館外)：192人

組織

組織図



職員

名誉館長
 館長
 副館長
 副主幹(兼)班長
 副主幹
 主査
 副主幹(兼)班長
 副主幹
 学芸主事

 技能主任
 研修員

河野 元昭
 仲町 啓子
 檜尾 康子
 柴田 卓也
 佐々木 賢一
 茂木 亨
 保泉 充
 鈴木 秀一
 藤井 正輝
 奈良 香
 高橋 輝樹
 小林 紀子
 鈴木 京
 伊藤 正信
 阿部 範一

事務補助職員
 学芸補助職員
 解説員

本間 恵里子
 村田 詩織
 藤田 園
 菊地 佳奈
 沓澤 史恵
 佐藤 美佳
 藤沢 香奈子
 佐藤 理美
 原 彩野
 赤川 和歌子
 佐々木 瑞穂
 岸 穂乃香
 (鈴石 睦美)

美術館協議会委員

会長
 副会長

木村 雅美
 亀沢 修
 池田 陽子
 大山 満子
 佐藤 稔
 澤谷 ゆりか
 澁谷 和之
 松田 砂織
 吉野 真史
 渡辺 歩

横手市教育委員会教育指導部学校教育課長
 小坂町史編さん室長
 株式会社 Mag 代表取締役
 公募(主婦)
 横手市立横手南小学校長
 秋田ふるさと村総務部総務課長
 澁谷デザイン事務所代表
 書道教室「えがおの花」代表
 日本放送協会秋田放送局長
 秋田魁新報社文化部長

建築・設備概要

建築概要

建設地	秋田県横手市赤坂字富ヶ沢62-46
敷地面積	164,936.81㎡(秋田ふるさと村)
建築面積	2,947.32㎡
延床面積	11,166.50㎡
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造) 地下1階 地上7階 PH1階
設計	株式会社 山下設計東北支社
監理	秋田県土木部営繕課・山下設計東北支社

施工

建築工事	大成・フジタ・三井・伊藤建設工事企業体
空調	ダイダン・山二建設工事共同企業体
電気	東光電気・伊藤電気建設工事共同企業体
給排水衛生	岡田水道施設工事(株)
受変電	羽後・伊藤電気建設工事共同企業体
弱電	千代田電気工業(株)
昇降機	三菱電機(株)

設備概要

電気設備

受変電設備	受電電圧3f 3W 6.6KV 50Hz 設備容量1,500KW
非常用発電設備	ディーゼル発電機(A重油)300KVA200V
蓄電池設備	非常照明・電源設備制御兼用 250Ah×1台
監視設備	中央監視装置：機能分散型DDC方式による 集中監視制御
照明設備	蛍光管主体 展示室照明：高演色性蛍光管(調光及び集中点滅 制御方式) 外壁照明：無電極ランプ(パターン照明方式)
視聴装置設備	拡声放送・電気時計・身障者トイレ呼出表示・ TV共聴研修室AV装置・ハイビジョンギャラ リー4系統(80インチ液晶モニター1台・60インチ 液晶モニター3台)ハイビジョンデータベース システム1系統(32インチ液晶モニター1台)
防犯設備	防犯センサー・I TV装置
防災設備	自動火災装置・防排煙設備

空調設備

熱源設備	吸収式冷温水発生機2000RT×2台 LPG 焚真空式温水ボイラー80,000Kcal/H×1台
空調設備	ユニット型空調機(還風機組込型)×4台 ユニット型空調機(全熱交換機組込一体型)×5台 ファンコイルユニット天井カセット型×105台 水冷式パッケージ型空調機×6台 空冷式ヒートポンプ型パッケージ×3台
換気設備	第1種及び第3種換気方式
排煙設備	機械排煙及び自然排煙
自動制御設備	機能分散型
燻蒸設備	常圧手動式ユニット型20㎡

給排水衛生設備

給水設備	上水引込口径75mm 重力給水方式 受水槽24m ³ 高置水槽6m ³
給湯設備	局所式(電気貯湯式)：各階湯沸室・宿直室ガス
排水設備	建物内：汚水・雑排水・雨水の各分流式 建物外：生活排水はふるさと村施設全体の浄化 槽へ導入
ガス設備	ふるさと村施設全体の集中LPG装置より供給 主に空調用熱源のエネルギー源として利用
消火設備	炭酸ガス消火・屋内消火栓

エレベーター設備

乗用エレベーター	1150kg	105m/分	2台
乗用エレベーター	1150kg	90m/分	1台
荷物用エレベーター	3000kg	45m/分	1台
小荷物用エレベーター	300kg	30m/分	1台

エスカレーター

展望エスカレーター	9000人/時	30m/分	1分
-----------	---------	-------	----

主な設備

5階展示室(4室計) 983.10㎡	収蔵庫(5室計) 852.9㎡
(1室) 260.28㎡	会議室 69.4㎡
(2室) 293.76㎡	実習室・準備室 135.0㎡
(3室) 237.13㎡	図書資料室 160.5㎡
(4室) 191.93㎡	調査研究室 45.5㎡
6階展示室(3室計) 786.90㎡	ハイビジョンギャラリー 241.9㎡
(1室) 255.96㎡	研修室 226.7㎡
(2室) 293.76㎡	キッズ・ルーム 128.9㎡
(3室) 237.13㎡	

関係法規

秋田ふるさと村条例（抜粋）

第1章 総則 （設置）

第1条

秋田県の文化遺産を次代に継承するとともに、郷土の文化を創造する機会を提供し、及び観光レクリエーション活動のための利便の増進を図り、もって県民のゆとりのある文化的な生活の向上に寄与するため、秋田県ふるさと村（以下ふるさと村という）を横手市赤坂字富ヶ沢に設置する。

（業務）

第2条

ふるさと村は、次の表の上欄に掲げる施設の区分に応じ、それぞれ同表の下欄に掲げる業務その他ふるさと村の設置の目的を達成するために必要な業務を行う。

施設	業務
秋田県立近代美術館	県にゆかりある作家の優れた美術作品を中心に収集し、保管し、及び展示し、併せて美術に関する調査研究及び普及活動を行う。

第2章 近代美術館 （近代美術館）

第4条

秋田県立近代美術館（以下「近代美術館」という。）は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第30条に規定する教育機関とする。

（職員）

第5条

近代美術館に事務職員その他の所要の職員を置く。
（近代美術館協議会）

第6条

近代美術館に博物館法（昭和26年法律第285号）第20条第2項に規定する博物館協議会として、秋田県立近代美術館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会は、委員10人以内で組織する。

3 委員は、次に掲げる者のうちから、教育委員会が任命する。

- 一 学校教育及び社会教育の関係者
- 二 家庭教育の向上に資する活動を行う者
- 三 学識経験のある者
- 四 近代美術館の利用者

4 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（入場料等の徴収）

第7条

近代美術館の特別展示室（特別の企画に基づく展示

を行う展示室をいう。以下同じ）に入場する者から、別表第1に定めるところにより、入場料を徴収する。ただし、幼児、小学校児童、中学校及び高等学校の生徒並びに高等専門学校及び大学の学生（これらの者に準ずる者を含む。）については、この限りではない。

2 前項本文の規定にかかわらず、同項本文の入場料と合わせてふるさと村のスノーホワイト城又はかまくらシアターの使用料を同時に納める者の入場料（定期券によるものを除く。）については、別表第1に定める金額の範囲内において知事が別に定める。

3 入場料は、特別展示室への入場の都度徴収する。ただし、定期券による入場にあたっては、これを発行するときに徴収する。

（入場料等の減免）

第8条

知事は、特別の理由があると認めるときは、入場料を減免することができる。

（入場料等の不還付）

第9条

既に徴収した入場料は、還付しない。ただし、知事は、入館者の責めに帰することができない理由により特別展示室に入場することができなくなった場合その他特に必要があると認められた場合は、その一部又は全部を還付することができる。

（規則への委任）

第10条

この条例に定めるもののほか、近代美術館の管理に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附則

この条例は、平成26年4月20日から施行する。

別表第1

特別展示室の入場料（第7条関係）

区分	金額（一人につき）
普通料金	820円。ただし、知事が別に定める展示にあつては、1,500円を超えない範囲内で知事が定める額
団体料金 （20人以上の団体）	740円。ただし、知事が別に定める展示にあつては、1,350円を超えない範囲内で知事が定める額
定期券 （有効期間1年）	2,500円。

教育機関の管理及び運営に関する規則（抜粋）

（趣旨）

第1条

この規則は、学校以外の教育機関の管理及び運営の基本的事項を定めるものとする。

第12条

条例第5条の規定による使用料の減免を受けようとする者は、別に定めるところにより、申請書を知事に提出しなければならない。

第8章の2 近代美術館

（開館時間）

第37条の2

秋田県立近代美術館（以下この章において「近代美術館」という。）の開館時間は、午前9時30分から午後5時までとする。ただし、近代美術館の長（以下この章において「館長」という。）は、必要があると認めるときは、当該時間を変更することができる。

（休館日）

第37条の3

近代美術館の休館日は、次の各号に掲げるとおりとする。

- 1 年始（1月1日及び1月2日）
- 2 年末（12月29日から12月31日まで）

（資料の館外貸出し等）

第37条の4

近代美術館の資料の館外貸出しを受け、又は特別利用しようとする者は、館長の定めるところにより、所要の手続きを経なければならない。

（準用）

第37条の5

第3条第3項及び第4項の規定は近代美術館の休館日の取扱い等について、第6条の規定は近代美術館の利用を拒否し、又は近代美術館からの退去を命ずる場合について、第7条の規定は近代美術館に資料を寄贈する場合等の手続について、第12条の規定は秋田県ふるさと村条例（平成5年秋田県条例第45号）第8条の規定による入場料の減免を受けようとする場合について準用する。

（補則）

第37条の6

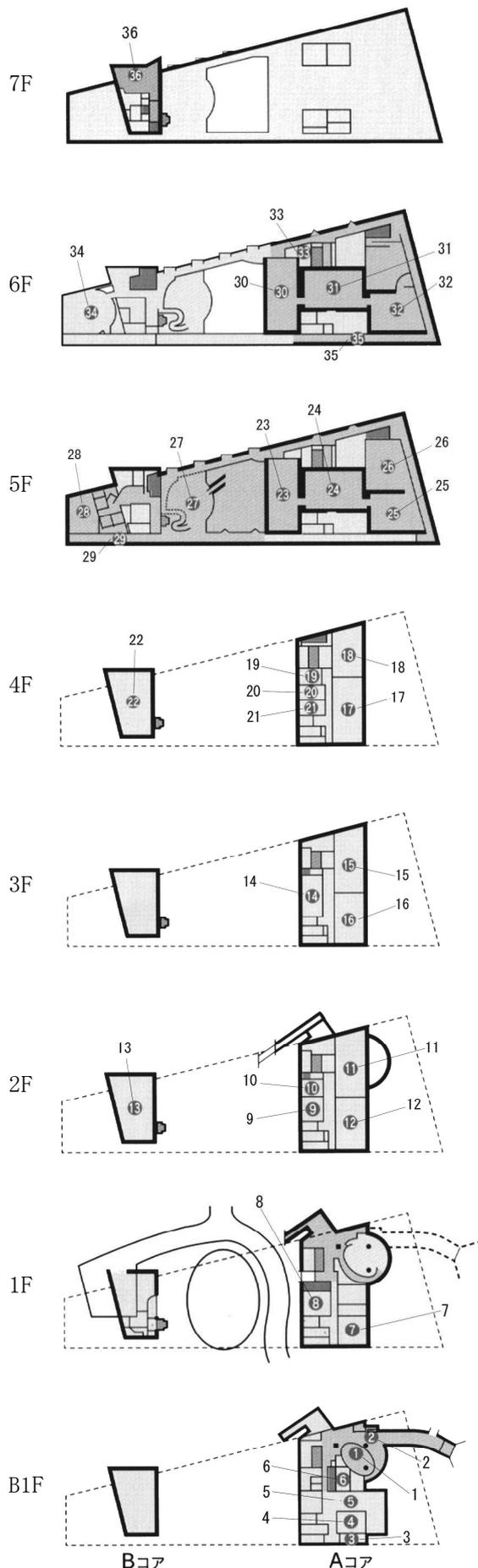
この章に定めるもののほか、近代美術館の管理及び運営に関し必要な事項は、館長が教育長と協議して別に定める。

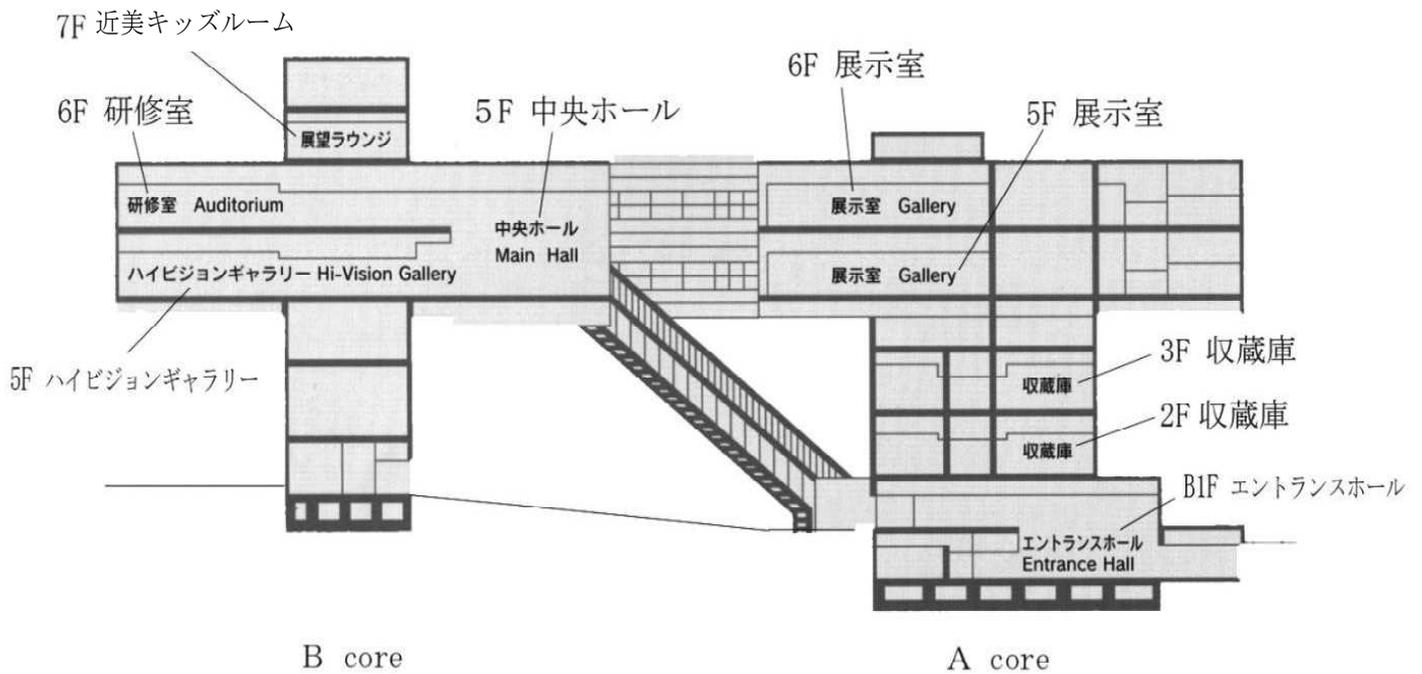
附則

この規則は、平成26年4月1日から施行する。

館内図

7F	36	近美キッズ・ルーム	Kid's Room
6F	35	スロープギャラリー	Slope Gallery
	34	研修室	Auditorium
	33	授乳室	Baby Room
	32	展示室(3)	Exhibition Gallery3
	31	展示室(2)	Exhibition Gallery2
	30	展示室(1)	Exhibition Gallery1
5F	29	ふれんどりーギャラリー	Friendly Gallery
	28	ハイビジョンギャラリー	Hi-Vision Gallery
	27	中央ホール	Main Hall
	26	展示室(4)	Exhibition Gallery4
	25	展示室(3)	Exhibition Gallery3
	24	展示室(2)	Exhibition Gallery2
	23	展示室(1)	Exhibition Gallery1
4F	22	電気室	Electric Room
	21	調査・研究室	Study Room
	20	館長室	Director's Room
	19	応接室	Lounge
	18	図書・資料室	Library
	17	事務室	Museum Office
3F	16	収蔵庫(5)	Storage Room5
	15	収蔵庫(4)	Storage Room4
	14	収蔵庫(3)	Storage Room3
2F	13	機械室	Machine Room
	12	収蔵庫(2)	Storage Room2
	11	収蔵庫(1)	Storage Room1
	10	暗室	Dark Room
	9	写真室	Photo Studio
1F	8	会議室	Conference Room
	7	実習室	Atelier
B1F	6	燻蒸室	Fumigation Room
	5	荷解室	Packing Room
	4	一時保管庫	Temporary Storage Room
	3	管理室	Guard Room
	2	インフォメーション	Information
	1	エントランスホール	Entrance Hall





- 1 **エントランスホール** 彫刻が並ぶアプローチギャラリーを抜けると大理石の壁に囲まれたエントランスホールが広がります。
- 2 **エスカレーター** 外の景色をながめながら、1階から5階へと皆様をお連れします。
- 3 **中央ホール** 自然光一杯のアトリウムは展示スペースへの入り口です。正面にハイビジョンギャラリー、右へ進むと展示室へと続きます。
- 4 **ハイビジョンギャラリー** 美術館の所蔵品や国内外の名作を高精細度の画像で提供するスペースです。
- 5 **展示室** 5階4部屋の企画展示室では、美術館独自の企画、他美術館・諸団体との共催により、広く内外の美術を特色あるテーマでご紹介します。また6階3部屋のコレクション展示室では、年4～6回の展示替えを行いながら、美術館の所蔵品を常時公開しています。
- 6 **実習室** 専門的な技法講座や基礎的な美術講座など、幅広い実技講座を行います。
- 7 **研修室** 充実したAV機器を完備し、展覧会に合わせた講演会の開催や美術史講座など、多目的に活用できるスペースです。
- 8 **収蔵庫** 5室からなる収蔵庫は、温湿度管理によって多くの作品保存・管理に対応できる機能をもっています。
- 9 **野外展示スペース** 自然の起伏を利用した緑の中の展示空間です。見るだけでなく、直に触れることで、より身近に作品を鑑賞していただけます。

利用案内

◆開館時間

午前9時30分～午後5時00分
(入館は午後4時30分まで)

◆休館日 (2018年度)

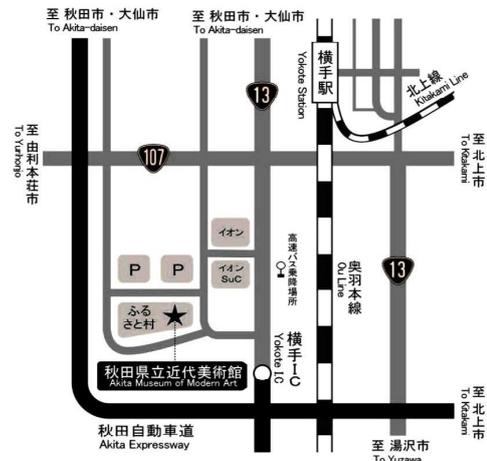
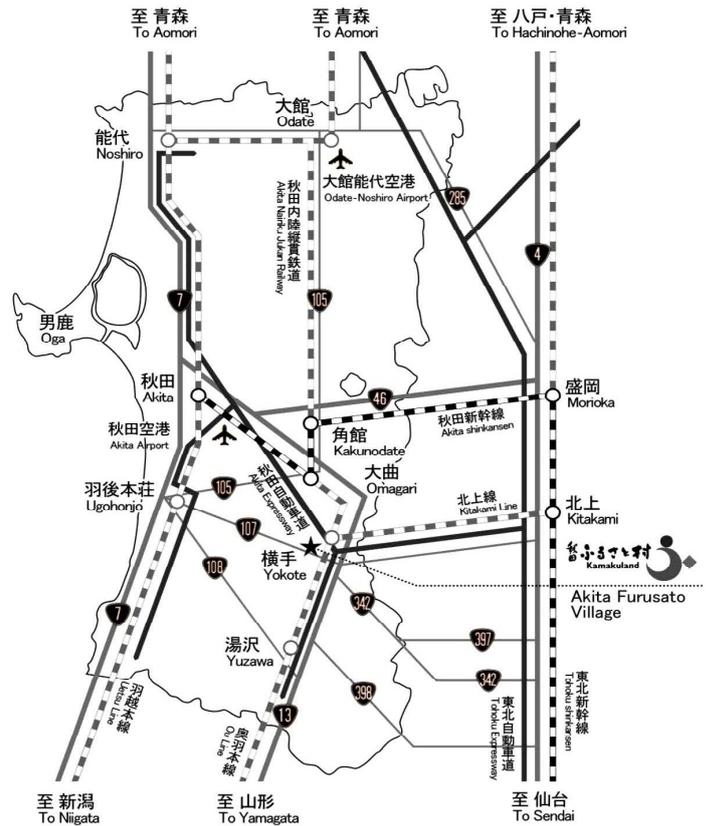
2018年12月29日～12月31日(年末休館)
2019年 1月15日～ 1月24日(メンテナンス休館)

◆料 金

	一般	大学生	高校生	中学生	未就学児 3歳以上	未就学児 2歳以下	障害者
特別展 北斎の富士展 団体(20名～)・前売り	1,000円 800円	500円 400円	500円 400円	無料	無料	無料	半額
特別展 チームラボ展 団体(20名～)・前売り	1,400円 1,200円	1,400円 1,200円	1,000円 800円	1,000円 800円	600円 500円	無料	半額
特別展 鴻池朋子展 団体(20名～)・前売り	1,200円 1,000円	800円 600円	800円 600円	無料	無料	無料	半額
特別展 横山津恵展 団体(20名～)・シルバー(70歳～)	500円 450円	無料	無料	無料	無料	無料	無料
企画展・コレクション展	無料	無料	無料	無料	無料	無料	無料

教育課程に基づく学習活動として利用する幼児・児童・生徒・学生及び引率者の入館料は免除されます。あらかじめ「観覧料免除申請書」を提出し、その承認を受けて下さい。

交通案内 Transportation



General Information

◆Museum hours

9:30 a.m. ~5:00 p.m. (Last Admission 4:30 p.m.)

◆Closed (Fiscal year 2018)

- Dec. 29-31, 2018 Year-end Holidays
- Jan. 15-24, 2019 Maintenance Week

◆Admission Fee

	adult	college student	senior high school student	junior high school student	elementary school student & pre-school child (ages3 & over)	pre-school child (ages2 & under)	handicapped person
Special Exhibition Hokusai no Fuji ※	¥1,000 ¥800	¥500 ¥400	¥500 ¥400	¥0	¥0	¥0	¥500
Special Exhibition Teamlab ※	¥1,400 ¥1,200	¥1,400 ¥1,200	¥1,000 ¥800	¥1,000 ¥800	¥600 ¥500	¥0	¥700
Special Exhibition Tomoko Konoike ※	¥1,200 ¥1,000	¥800 ¥600	¥800 ¥600	¥0	¥0	¥0	¥600
Special Exhibition Tsue Yokoyama *	¥500 ¥450	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
Permanent Exhibition	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0

- ※ Group Discount (20 persons and more) & an advance ticket.
- * Group Discount (20 persons and more) & Senior discount (persons of ages70 and over).

- ◆ (JRとバスで)
JR横手駅東口からバス「ふるさと村行き」で、ふるさと村下車
- ◆ (お車で)
秋田自動車道 横手インターより3分
- ◆ (高速バスで)
高速バス 湯沢・秋田線「横手インター入口」下車、徒歩10分
- ◆ (By JR train and bus)
Get off at JR Yokote Station. Go out of the East Exit and take the bus for Akita-Furusato Mura.
- ◆ (By car)
Get off at Yokote Interchange on the Akita Express Way, then you will get there in 3 minutes.
- ◆ (By Express bus, Yuzawa-Akita Line)
Get off at "Yokote Inter Iriguchi", then you will get there in 10 minutes on foot.

秋田県立近代美術館年報 2019年6月発行
編集・発行 秋田県立近代美術館

〒013-0064 秋田県横手市赤坂字富ヶ沢62-46
TEL. 0182-33-8855 FAX. 0182-33-8858
URL http://www.pref.akita.jp/gakusyu/public_html/index.html
E-mail: akitamma@rnac.ne.jp